

2024年3月期 第2四半期

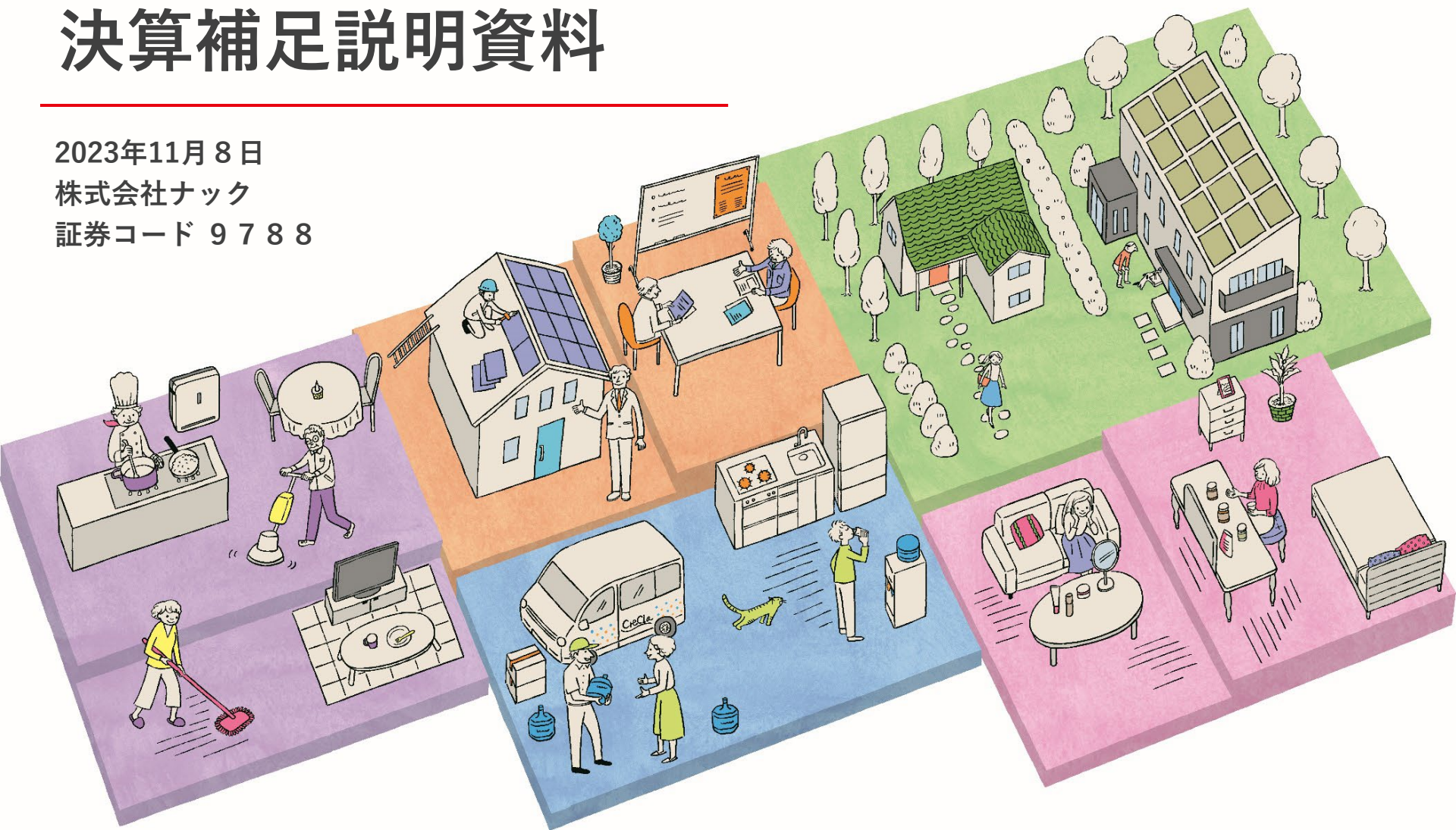
NAC

決算補足説明資料

2023年11月8日

株式会社ナック

証券コード 9788



— 本資料の記載内容 —

01	第2四半期の実績	…	P. 2
02	セグメント別業績	…	P. 14
03	業績予想	…	P. 34
04	配当	…	P. 38
05	中期経営計画	…	P. 40
06	会社概要	…	P. 47

注意事項：

本資料に記載されている業績目標等は、いずれも当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、また新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

したがって、実際の業績は本資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

01 第2四半期の実績

1-1. 連結損益計算書

1-1a 業績ハイライト（前年同期比）

- 売上高

クリクラ

猛暑による水の需要増加、前年度に実施したクリクラボトルの値上げにより売上高増加

コンサル

第1四半期に引き続き、審査完了までに時間を要する補助金対象商品の販売割合が増加したことで第2四半期に売上が計上されず減少

住宅

土地価格の上昇、建築部資材の高騰による不動産市場全体の鈍化により着工戸数が減少し売上高減少
- 営業利益

クリクラ

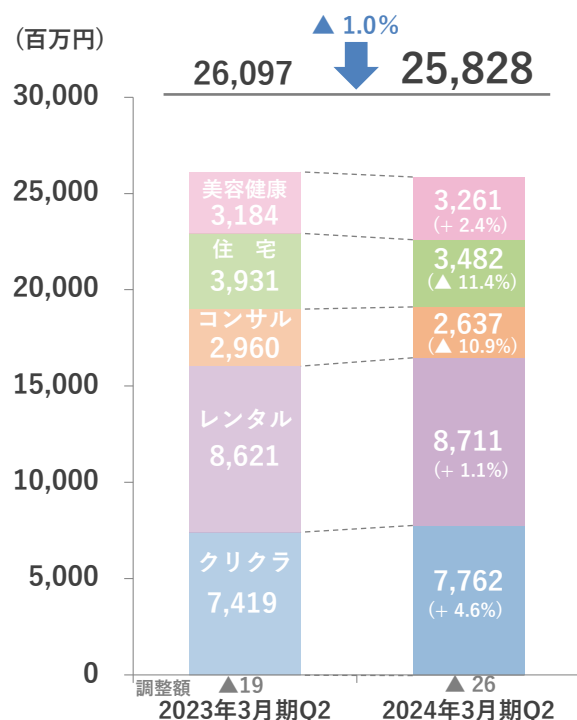
猛暑や値上げの影響で売上高が増加したことにより増加

コンサル

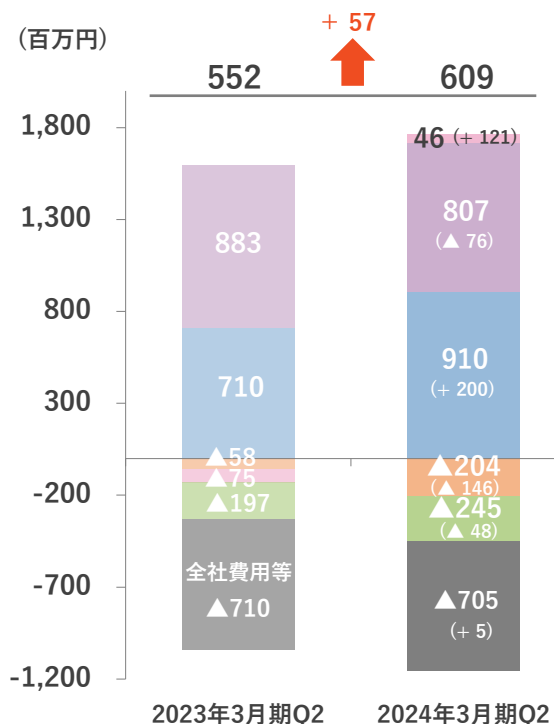
売上総利益率の高いコンサルティング部門における売上高減少により営業損失が拡大
- 四半期純利益

営業利益の増加により増加

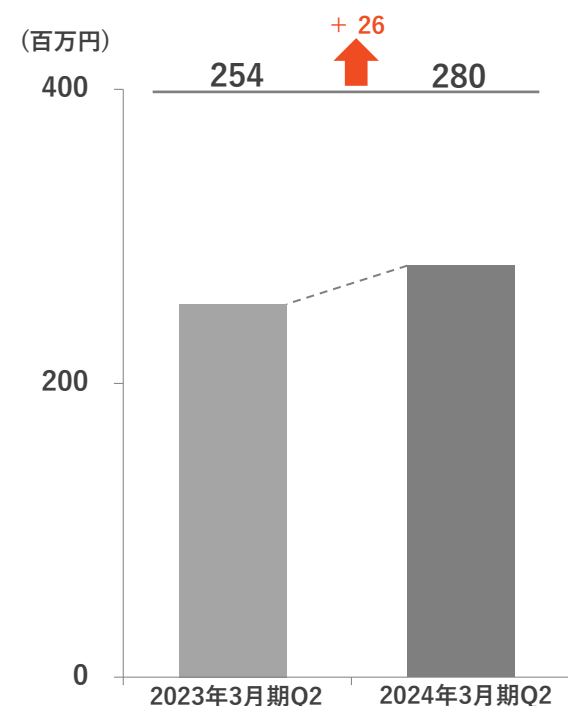
売上高（カッコ内は増減率）



営業利益（カッコ内は増減額）



四半期純利益(※)



(※) 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益、調整額：セグメント間の内部売上高又は振替高

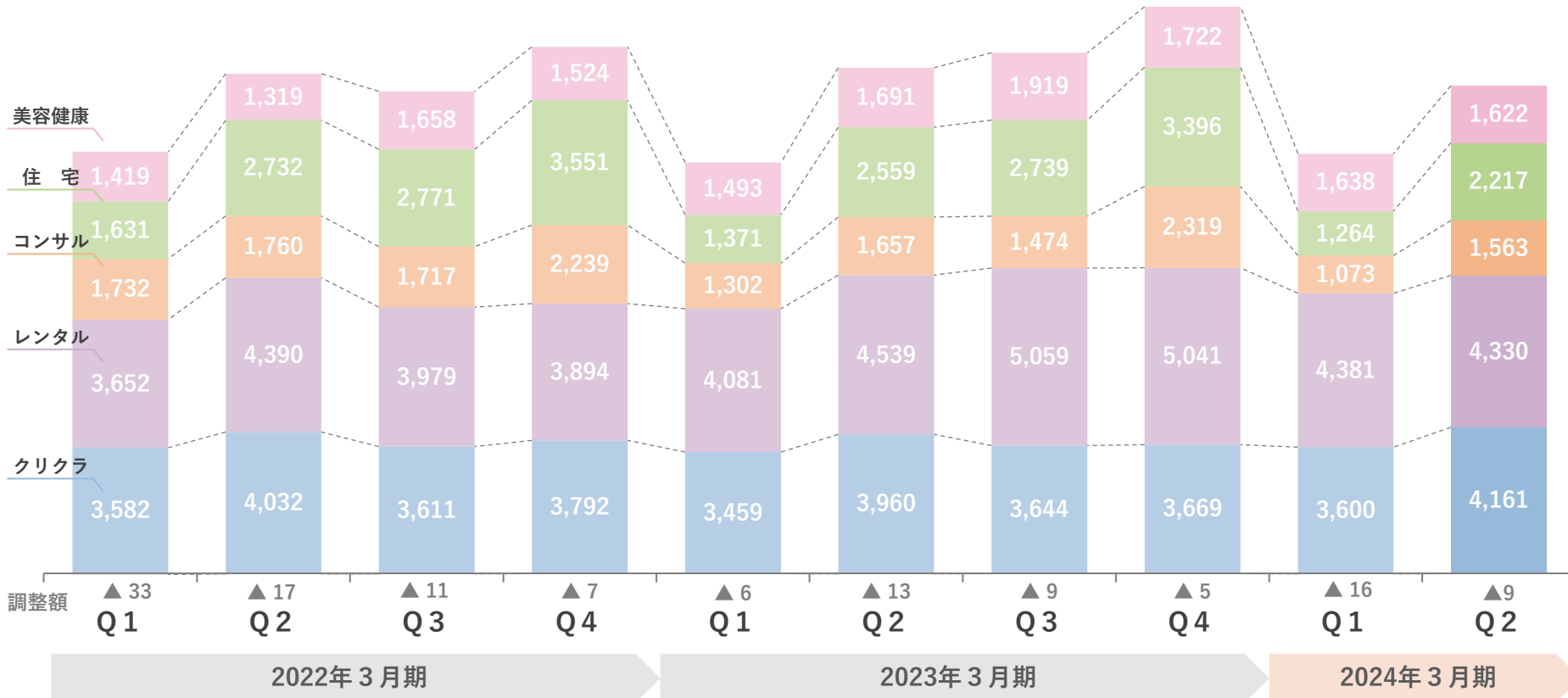
1-1b 四半期別 売上高／営業利益の四半期推移

2022年 3 月期				2023年 3 月期				2024年 3 月期	
Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 1	Q 2
売上高									
11,984	14,218	13,727	14,993	11,702	14,394	14,827	16,149	11,941	13,886
営業利益									
185	848	856	871	▲ 243	795	975	1,705	▲ 162	772

売上高四半期推移

※建築コンサルティング事業、住宅事業の売上高がQ4に集中する反動として、Q1の売上高は減少しています。

(百万円)



◆調整額：セグメント間の内部売上高又は振替高

1-1c 連結損益計算書



(百万円)

	2024年3月期 Q2実績	計画比		前期比	
		当期Q2計画※ (2023年5月15日公表値)	達成率※	前期Q2実績	増減率
売上高	25,828	28,000	92.2%	26,097	▲ 1.0%
売上総利益	13,178	—	—	13,108	+ 0.5%
(売上総利益率)	51.0%	—	—	50.2%	+ 0.8pt
販売費及び一般管理費	12,568	—	—	12,556	+ 0.1%
営業利益	609	1,050	58.0%	552	+ 10.4%
(営業利益率)	2.3%	—	—	2.1%	+ 0.2pt
営業外損益	79	—	—	13	+ 507.6%
経常利益	689	1,050	65.6%	566	+ 21.8%
特別損益	▲ 4	—	—	5	—
親会社株主に帰属する当期純利益	280	700	40.0%	254	+ 10.3%

1-1d セグメント別売上高

(百万円)

	2024年3月期 Q2実績	計画比		前期比	
		当期Q2計画	達成率	前期Q2実績	増減率
ク リ ク ラ 事 業	7,762	7,500	103.4%	7,419	+ 4.6%
レ ン タ ル 事 業	8,711	8,300	104.9%	8,621	+ 1.1%
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	2,637	3,700	71.2%	2,960	▲ 10.9%
住 宅 事 業	3,482	5,000	69.6%	3,931	▲ 11.4%
美 容 ・ 健 康 事 業	3,261	3,500	93.1%	3,184	+ 2.4%
消 去 調 整 他	▲ 26	—	—	▲ 19	—
合 計	25,828	28,000	92.2%	26,097	▲ 1.0%

1-1e セグメント別営業利益

(百万円)

	2024年3月期 Q2実績	計画比		前期比	
		当期Q2計画	達成率	前期Q2実績	増減率
ク リ ク ラ 事 業	910 (11.7%)	700 (9.3%)	130.0% (+ 2.4pt)	710 (9.6%)	+ 28.2% (+ 2.1pt)
レ ン タ ル 事 業	807 (9.3%)	750 (9.0%)	107.6% (+ 0.3pt)	883 (10.3%)	▲ 8.7% (▲ 1.0pt)
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	▲ 204 (▲ 7.7%)	300 (8.1%)	— (▲ 15.8pt)	▲ 58 (▲ 2.0%)	— (▲ 5.7pt)
住 宅 事 業	▲ 245 (▲ 7.0%)	0 (0%)	— (▲ 7.0pt)	▲ 197 (▲ 5.0%)	— (▲ 2.0pt)
美 容 ・ 健 康 事 業	46 (1.4%)	0 (0%)	— (+ 1.4pt)	▲ 75 (▲ 2.4%)	— (+ 3.8pt)
全 社 費 用 等	▲ 705	▲ 700	—	▲ 710	—
合 計	609 (2.4%)	1,050 (3.7%)	58% (▲ 1.3pt)	552 (2.1%)	+ 10.4% (+ 0.3pt)

※カッコ内の数値は売上高に対する営業利益率です。

1-1f 営業利益の増減要因（前年同期比）

売上総利益

クリクラ

猛暑による水需要の増加、及び2022年10月に実施したクリクラボトルの値上げによる売上高増加に伴い増加

コンサル

売上総利益率の高いコンサルティング部門の売上高減少に伴い減少

広告宣伝費及び販売促進費

美容健康

美容・健康事業全体における広告宣伝費及び販売促進費の抑制により減少

			(百万円)
			前年同期比増減率
2023年 3 月期 Q 2 営業利益			—
売上総利益の増減			+ 69 + 0.5%
販売費及び一般管理費の増減	人件費	+ 53	▲ 1.0%
	広告宣伝費及び販売促進費	+ 50	▲ 2.8%
	地代家賃	▲ 5	+ 0.7%
	減価償却費・のれん償却額	+ 26	▲ 6.2%
	その他の販管費	▲ 136	+ 2.9 %
2024年 3 月期 Q 2 営業利益			+ 10.4%

01 第2四半期の実績

1-2. 連結貸借対照表

1-2a 連結貸借対照表 資産の部

流動資産 **増加** 販売用不動産 + 752百万円／未成工事支出金 + 648百万円

減少 現金及び預金 ▲ 2,540百万円

固定資産 特記事項なし

	2024年3月期 Q2	構成比	2023年3月期	構成比	増減額
流動資産	24,029	63.8%	24,875	64.2%	▲ 845
有形固定資産	8,070	21.4%	8,225	21.2%	▲ 154
無形固定資産	1,405	3.7%	1,477	3.8%	▲ 72
投資その他の資産	4,138	11.0%	4,157	10.7%	▲ 18
固定資産	13,614	36.2%	13,860	35.8%	▲ 245
資産合計	37,644	100.0%	38,735	100.0%	▲ 1,091

1-2b 連結貸借対照表 負債の部・純資産の部

負債

増加

未成工事受入金 + 898百万円

減少

未払法人税等 ▲ 602百万円

純資産

減少

利益剰余金 ▲ 668百万円／資本剰余金 ▲ 514百万円

(百万円)

	2024年3月期 Q2	構成比	2023年3月期	構成比	増減額
流動負債	11,647	30.9%	11,470	29.6%	+ 177
固定負債	4,174	11.1%	4,060	10.5%	+ 113
負債合計	15,821	42.0%	15,531	40.1%	+ 290
株主資本	22,445	59.6%	23,775	61.4%	▲ 1,329
その他の包括利益累計額	▲ 622	▲ 1.6%	▲ 571	▲ 1.5%	▲ 51
非支配株主持分	—	—	—	—	—
純資産合計	21,822	58.0%	23,204	59.9%	▲ 1,381
負債・純資産合計	37,644	100.0%	38,735	100.0%	▲ 1,091

01 第2四半期の実績

1-3. 連結キャッシュフロー計算書

1-3 連結キャッシュフロー計算書

営業CF **増加** 税金等調整前当期純利益 + 685百万円／未成工事受入金 + 898百万円

減少 棚卸資産の増加 ▲ 1,489百万円／未払消費税等 ▲ 248百万円

投資CF **減少** 有形固定資産の取得による支出 ▲ 170百万円／投資有価証券の取得による支出 ▲ 242百万円

財務CF **減少** 長期借入金の返済による支出 ▲ 813百万円／自己株式の取得による支出 ▲ 967百万円

	2024年3月期 Q2実績	2023年3月期 Q2実績	2023年3月期 通期実績
1.営業活動によるキャッシュフロー	▲ 664	▲ 1,192	1,709
2.投資活動によるキャッシュフロー	▲ 531	▲ 212	▲ 361
3.財務活動によるキャッシュフロー	▲ 1,401	▲ 849	▲ 2,555
現金及び現金同等物の増減額	▲ 2,596	▲ 2,253	▲ 1,206
現金及び現金同等物の期首残高	11,029	12,187	12,187
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	48	48
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	48	—	—
現金及び現金同等物の期末残高	8,481	9,983	11,029
減価償却費・のれん償却額	569	599	1,188

02 セグメント別業績

2-1. クリクラ事業

2-1a クリクラ事業 売上高および営業利益推移

売上高

直営部門

- ・宅配水「クリクラ」では猛暑による水需要の増加やクリクラボトルの値上げ（2022年10月）により前年同期比で増加
- ・次亜塩素酸水溶液「ZiACO（ジアコ）」では新型コロナウイルスの5類感染症への移行により解約率が増加し前年同期比で減少

加盟店部門

前年同期と比較すると顧客件数は減少しているものの、前年度に実施したクリクラボトルの値上げにより前年同期比で増加

営業利益

猛暑の影響を受けた水需要の増加による売上高の増加により前年同期比で大幅に増加

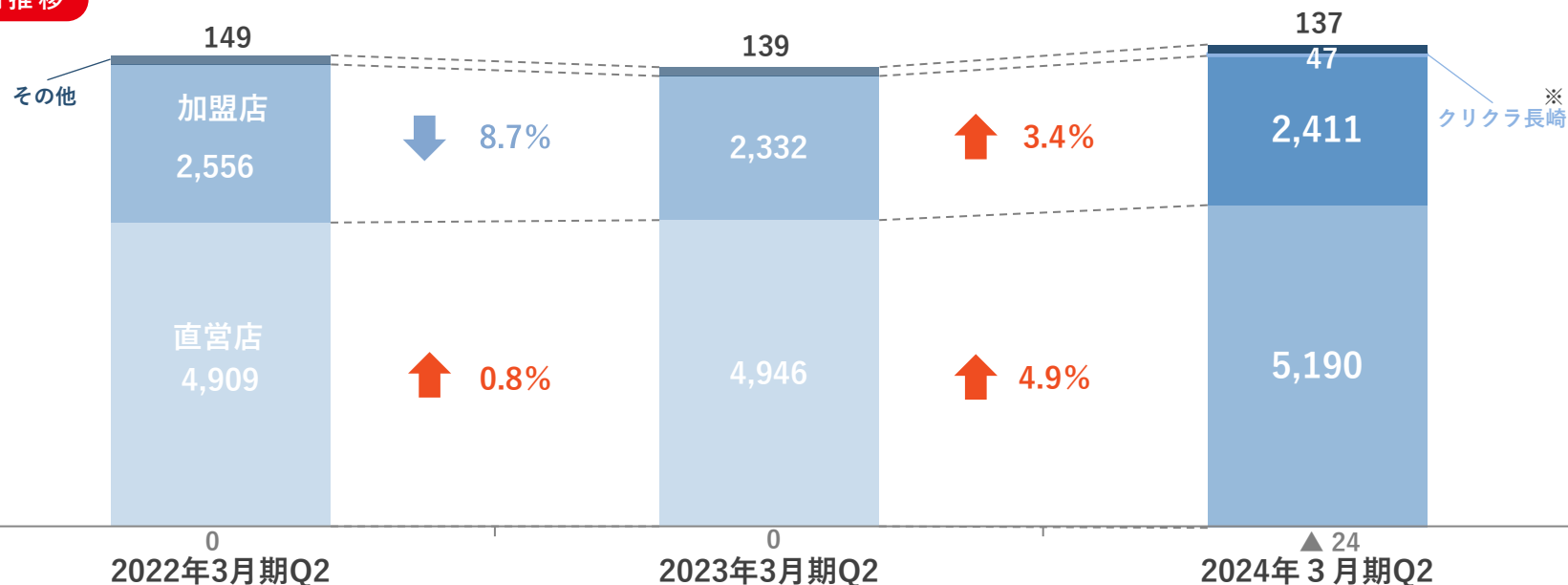
	2022年3月期Q2	2023年3月期Q2	2024年3月期Q2
売上高	7,615	7,419	7,762

(百万円)

	2022年3月期Q2	2023年3月期Q2	2024年3月期Q2
営業利益	571	710	910

売上高推移

※新規設立（2023年4月より連結）

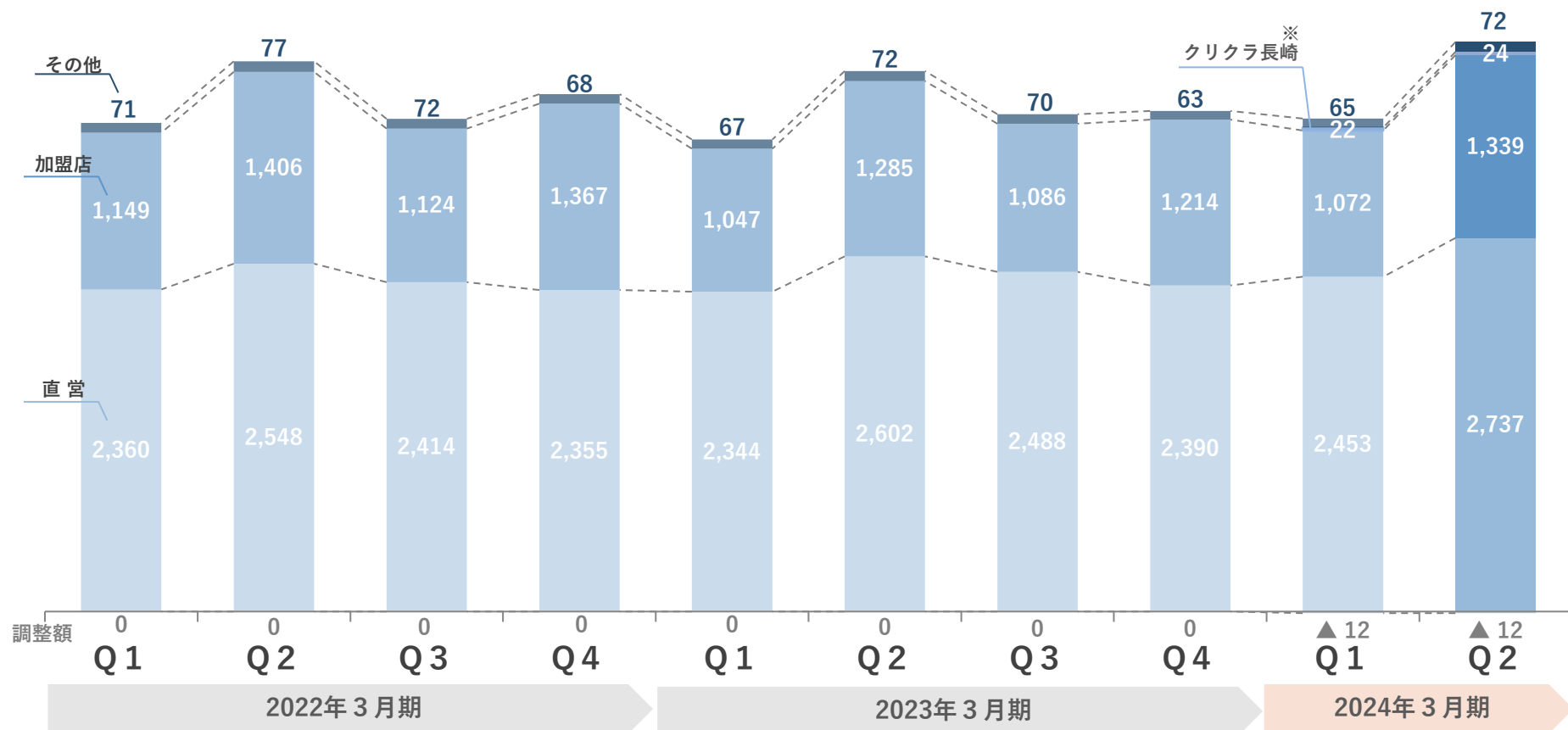


2-1b クリクラ事業 売上高／営業利益の四半期推移

2022年 3 月期				2023年 3 月期				2024年 3 月期	
Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 1	Q 2
売上高									
3,582	4,032	3,611	3,792	3,459	3,960	3,644	3,669	3,600	4,161
営業利益									
169	401	286	411	125	584	474	434	259	650

※新規設立（2023年 4 月より連結）（百万円）

売上高四半期推移



2-1c クリクラ事業 第53期以降の重点施策

- 顧客件数の拡大 ▶ 主にショッピングモール等でのイベント営業を中心とする販促活動の強化
 - ▶ 新サーバー・新サービスの開発・提供
 - ▶ 2023年7月に販売開始した小型の浄水型ウォーターサーバー「putio（プティオ）」の販促活動の強化
 - ▶ システムインフラ「CrePF（クリクラプラットフォーム）」の活用
- 人材の確保と育成体制の強化
- さまざまなメディアを活用したクロスメディア戦略



feel free



2023年7月販売開始
小型化にこだわった
浄水型ウォーターサーバー
「putio（プティオ）」

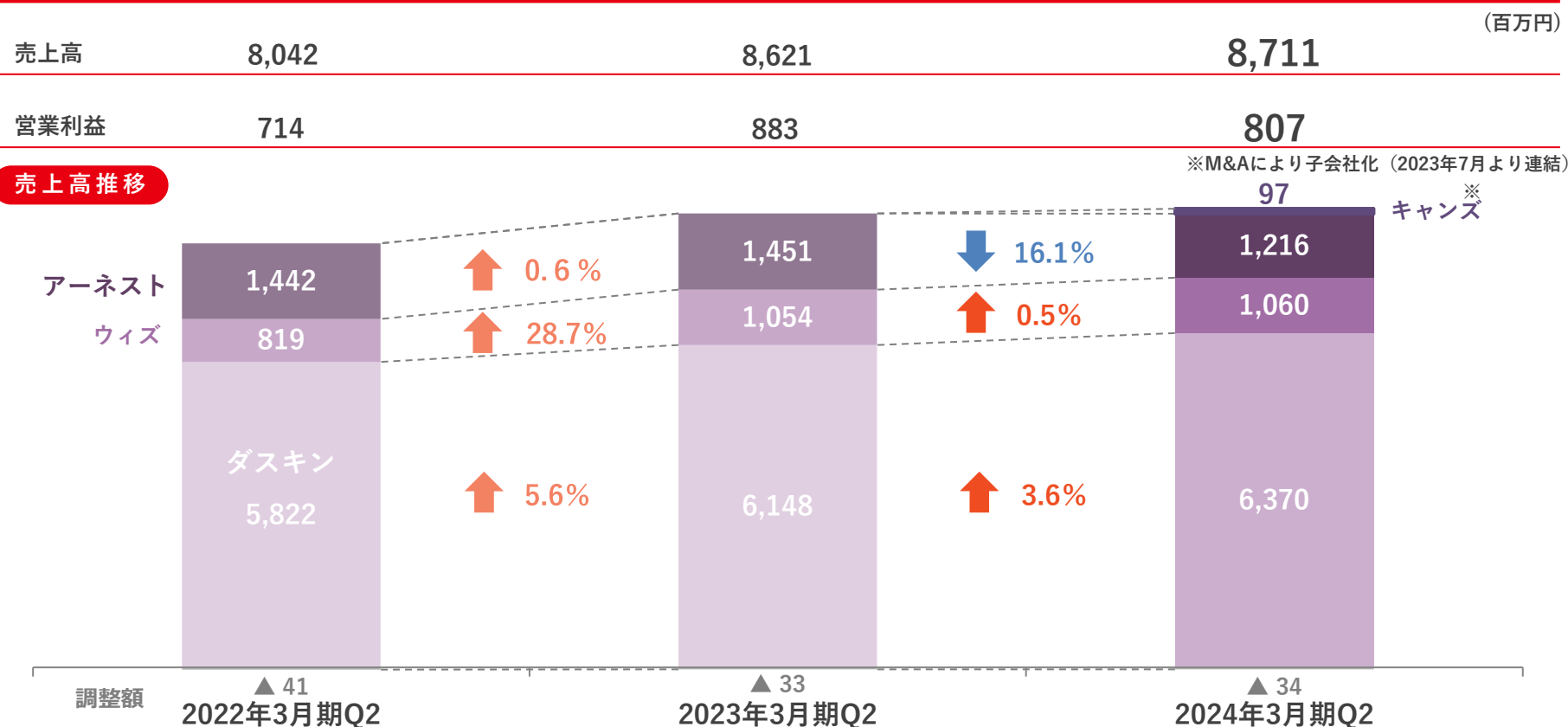


02 セグメント別業績

2-2. レンタル事業

2-2a レンタル事業 売上高および営業利益推移

- 売上高**
- ダスキン** ダストコントロール部門において家計の見直し等から解約率が増加傾向にある一方、ケアサービス部門、ヘルスレント部門の事業拡大により前年同期比で増加
 - ウィズ** 主要顧客である飲食店への納品率が向上し、前年同期比で同水準（微増）
 - アーネスト** 感染症関連事業（厚労省が実施する水際対策の支援事業）の受注が減少し、前年同期比で減少
- 営業利益** (株)アーネストにおいて売上高が低下した影響により前年同期比で減少

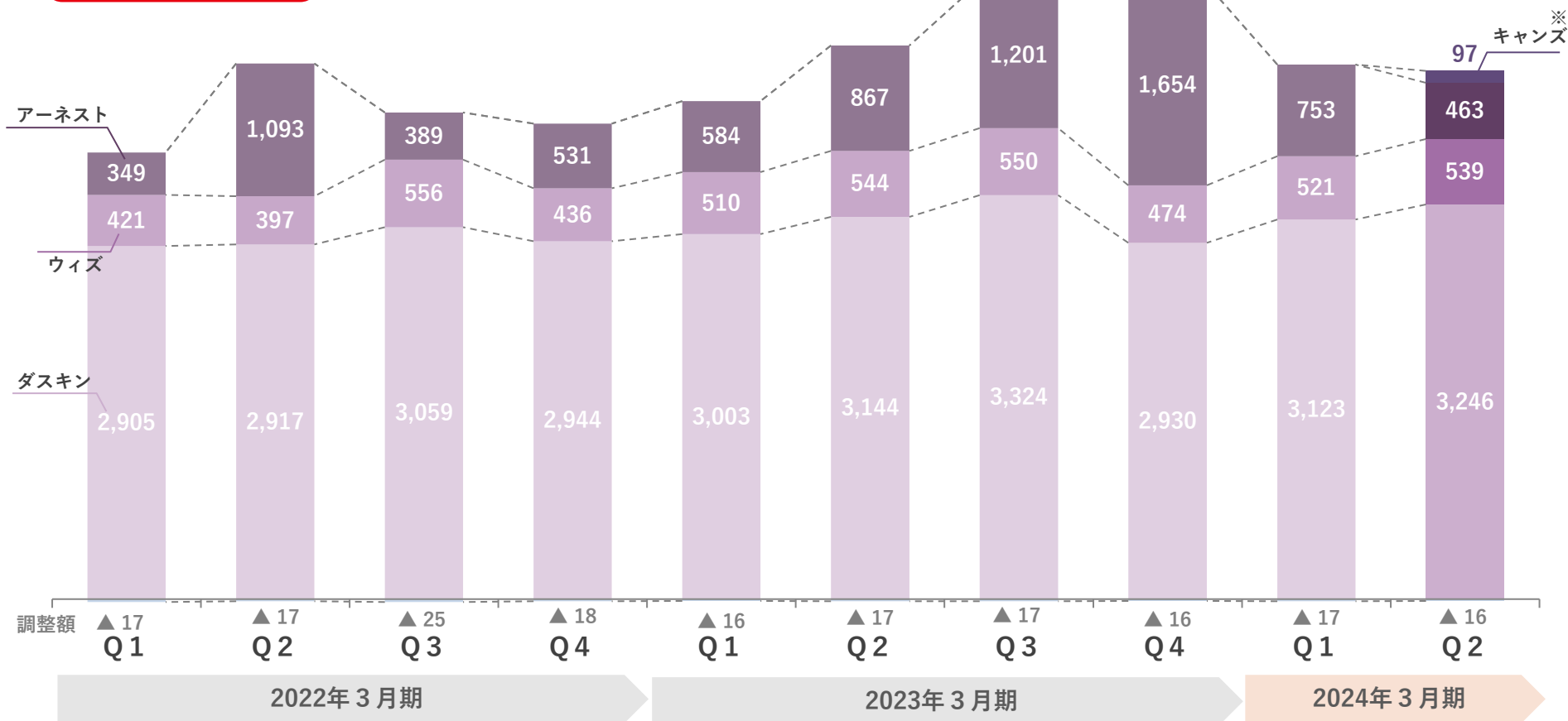


2-2b レンタル事業 売上高／営業利益の四半期推移

2022年 3 月期				2023年 3 月期				2024年 3 月期	
Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 1	Q 2
売上高									
3,652	4,390	3,979	3,894	4,081	4,539	5,059	5,041	4,381	4,330
営業利益									
290	424	458	448	414	469	630	535	408	398

※M&Aにより子会社化（2023年7月より連結）（百万円）

売上高四半期推移



2-2c レンタル事業 第53期以降の重点施策

ダスキン

- ・(株)ダスキンとの資本業務提携により、ケアサービス部門とヘルスレント部門の販促人員を増強して営業活動を拡大
- ・感染症で変化したライフスタイルに対応した新商品・新サービスの提供

ウィズ

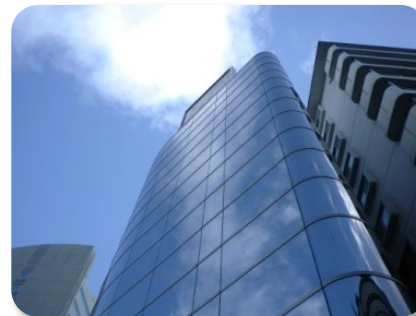
主要顧客である飲食店の営業再開を追い風に、営業活動を強化・効率化

アーネスト

感染症関連事業の継続とそれ以外の分野における各省庁との連携強化

キャンズ

2023年6月に原状回復工事事業等を行う(株)キャンズを子会社化



衛生環境を整える
DUSKIN

with

EARNEST
総合ビル管理 株式会社アーネスト

CAN'S
Housing Maintenance

02 セグメント別業績

2-3. 建築コンサルティング事業

2-3a 建築コンサルティング事業 売上高および営業利益推移

売上高

コンサル

第1四半期に引き続き補助金対象商品の販売比重が増加
審査完了まで時間を要するため第2四半期に売上が計上されず前年同期比で減少

N H P

- ▶ スマートエネルギー事業（旧ナックススマートエネルギー株）において半導体不足による商品供給遅延が改善し、材工売上高が増加したことで前年同期比で増加
- ▶ 住宅ネットワーク事業（旧エースホーム株）において加盟店での上棟数減少に伴う卸売減少により前年同期比で減少

営業利益

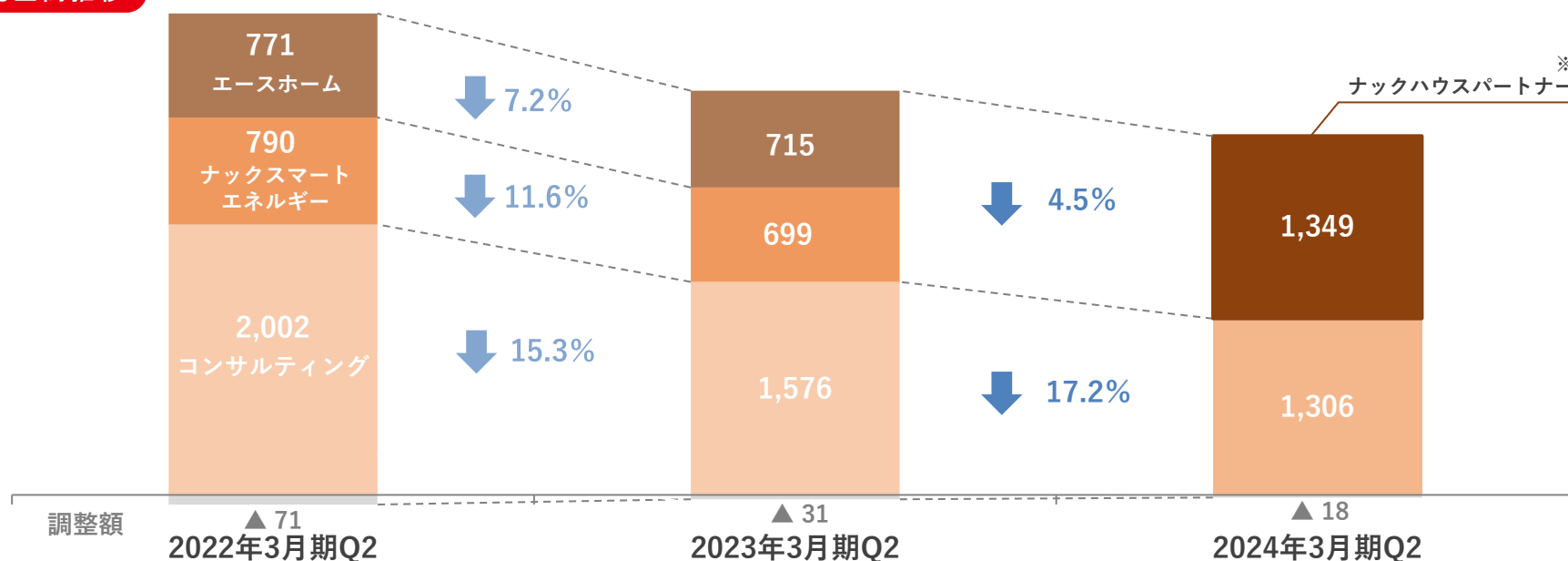
売上総利益率の高いコンサルティング部門での売上高減少により営業損失が大幅に拡大

売上高	3,492	2,960	2,637
営業利益	296	▲ 58	▲ 204

(百万円)

売上高推移

※エースホーム株がナックススマートエネルギー株を吸収合併して社名変更（2023年4月1日）



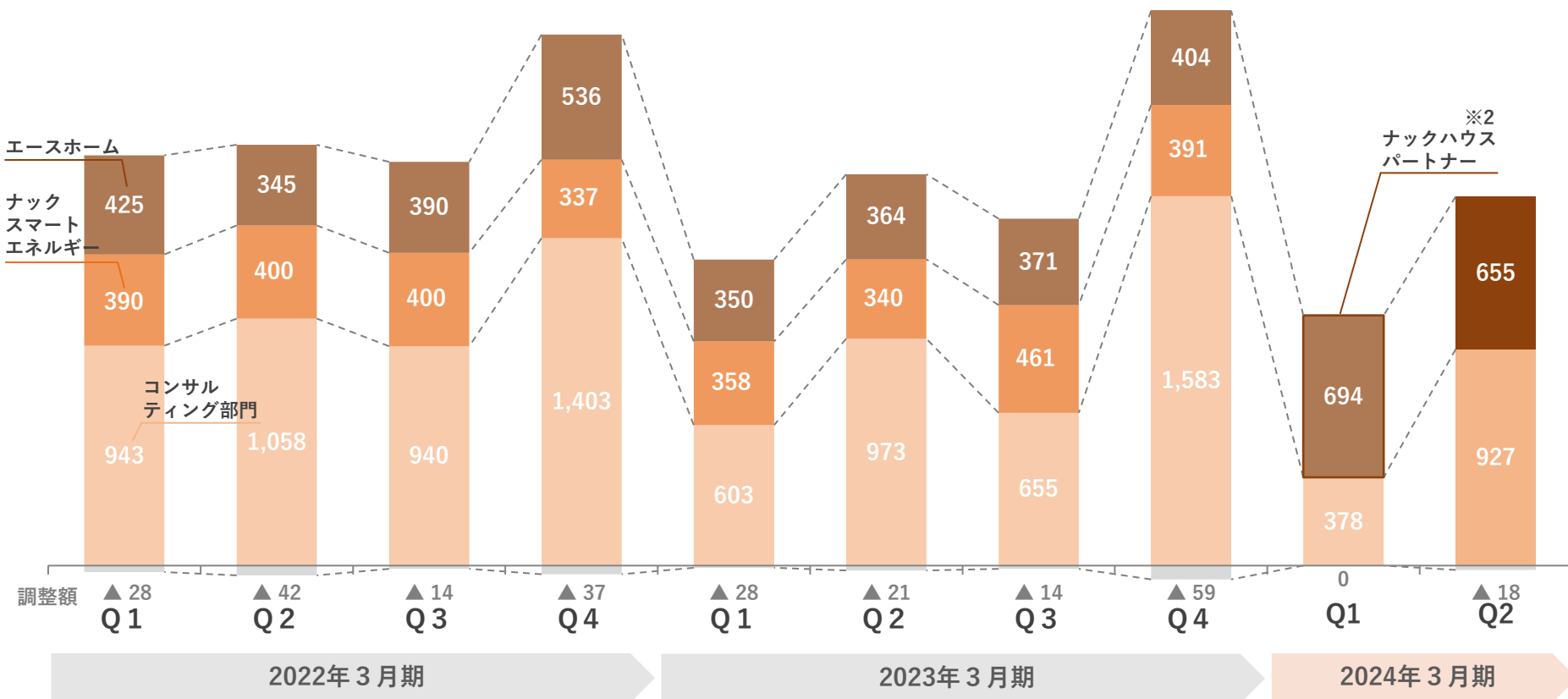
◆調整額：主にセグメント内の売上高

2-3b 建築コンサルティング事業 売上高／営業利益の四半期推移

2022年 3 月期				2023年 3 月期				2024年 3 月期	
Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 1	Q 2
売上高									
1,732	1,760	1,717	2,239	1,302	1,657	1,474	2,319	1,073	1,563
営業利益									
84	212	113	461	▲ 193	134	10	895	▲ 295	91

※1 2022年 3 月期 Q 4：エースホーム(株)決算期変更（2 月期⇒3 月期）により 4 ヶ月決算
 ※2 エースホーム(株)がナックスマートエネルギー(株)を吸収合併し社名変更（2023年 4 月 1 日）

売上高四半期推移



コンサルティング
部門

- DXやSDGsを推進する新商品の販売
- 補助金対象商品を活用した営業手法の強化による販売数拡大
- 無料会員制度のサービス拡充と会員向けアフターサポートの強化
- 2023年4月1日に、エースホーム(株)がナックススマートエネルギー(株)を吸収合併
 - ▶ 同日「ナックハウスパートナー(株)」に社名変更
- 両事業のシナジー効果を発揮し脱炭素社会の実現に向けた新サービスを開発・提供

ナックス
ハウス
パートナー



Think Tank For Construction

NAC

コンサルティング部門

2023年4月1日にエースホーム(株)が
ナックススマートエネルギー(株)を吸収合併



×



ナックススマートエネルギー(株)

ナックハウスパートナー(株)
に社名変更



NAC HAUS Partner



▶ 住宅ネットワーク事業

(旧：エースホーム(株))



▶ スマートエネルギー事業

(旧：ナックススマートエネルギー(株))

02 セグメント別業績

2-4. 住宅事業

2-4a 住宅事業 売上高および営業利益推移

売上高

ケイディアイ

都心の土地価格上昇や建築部資材高騰の影響で住宅価格が高騰し、不動産市場全体が鈍化したことで販売戸数が伸び悩み前年同期比で減少

ジェイウッド

資材高騰を販売価格に転嫁したことで販売単価が上昇したものの、完工棟数が減少したため前年同期比で減少

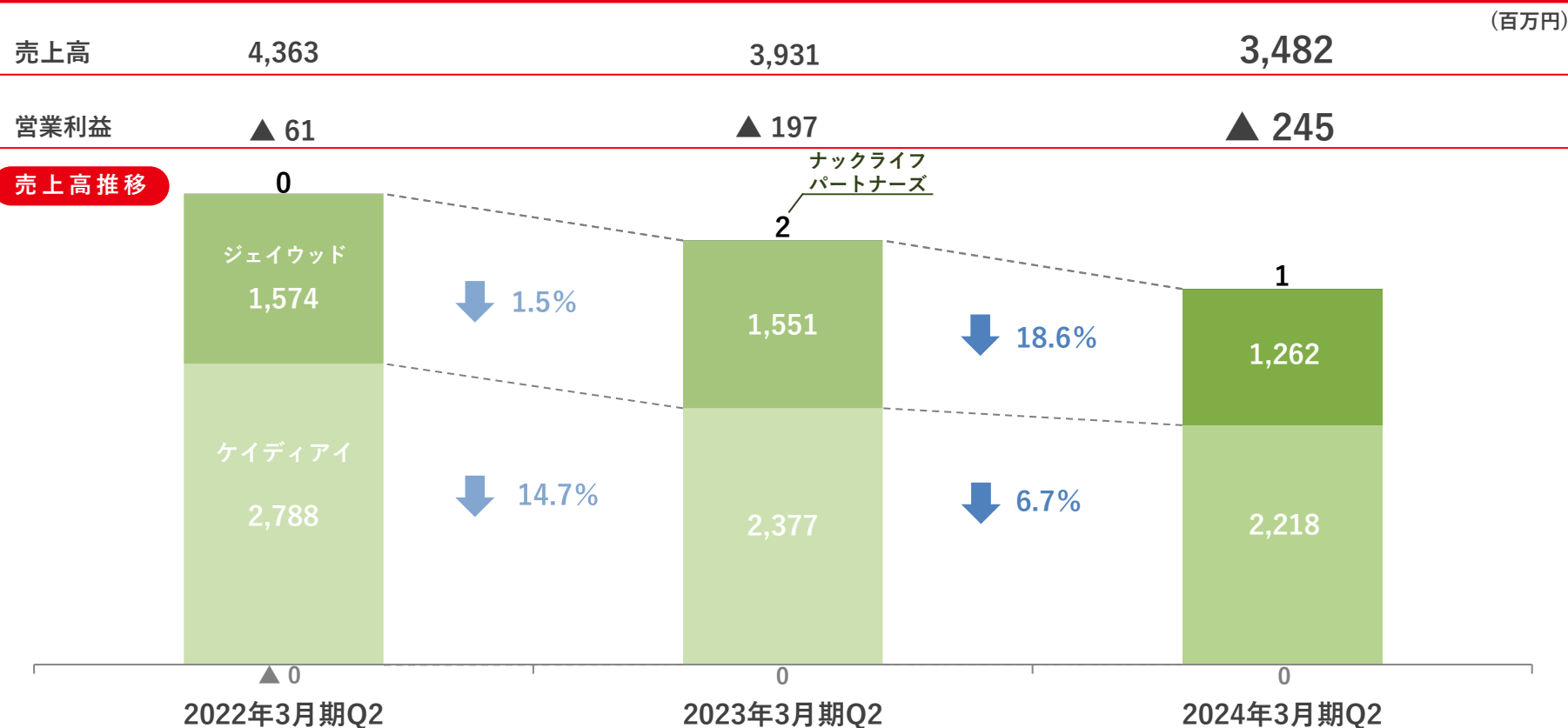
営業利益

ケイディアイ

土地価格、資材等の仕入コスト上昇により販売戸数が減少し前年同期比で減少

ジェイウッド

価格転嫁により販売単価と営業利益率が改善したものの、売上高が減少した影響により前年同期に引き続き損失計上

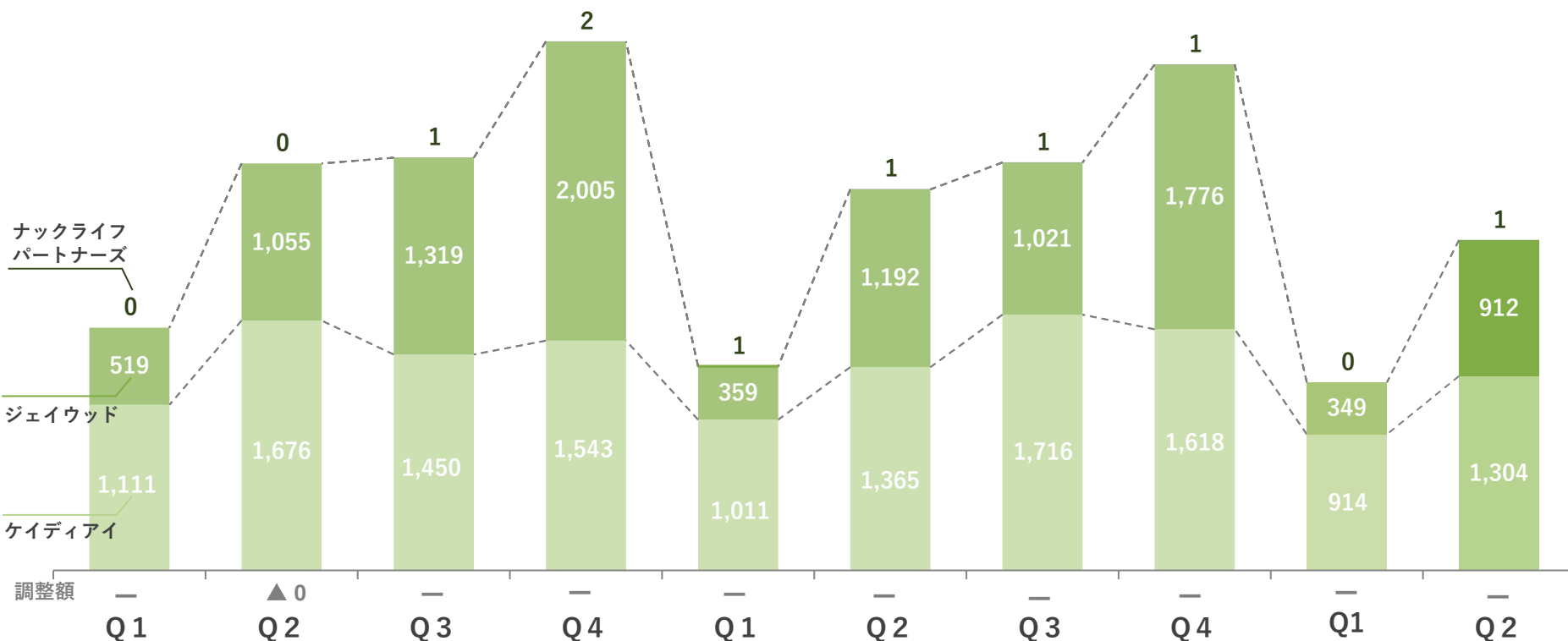


2-4b 住宅事業 売上高／営業利益の四半期推移

2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期	
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高									
1,631	2,732	2,771	3,551	1,371	2,559	2,739	3,396	1,264	2,217
営業利益									
▲ 114	53	142	152	▲ 197	▲ 0	▲ 21	38	▲ 198	▲ 46

売上高四半期推移

(百万円)



2-4c 住宅事業 第53期以降の重点施策

ケイディアイ

- ・不動産ソリューションの強化
- ・都内23区を中心として用地仕入に注力

ジェイウッド

- ・JWOOD事業20周年を記念したさまざまなキャンペーン開催
 - ▶ 新たな「ファンづくり」の推進
- ・KUNIMOKU HOUSE事業では省エネ住宅などの商品ラインナップ充実



KDI-HOME

Kindness, Development, Integrity



株式会社 ジェイウッド



**KUNIMOKU
HOUSE**

02 セグメント別業績

2-5. 美容・健康事業

2-5a 美容・健康事業 売上高および営業利益推移

売上高

JIMOS 「SINN PURETÉ」の販売数拡大、「MACCHIA LABEL」での新規獲得が好調に推移したことにより前年同期比で増加

ベルエアー 主力の栄養補助食品における顧客数減少により前年同期比で減少

アップセール EC販売の価格競争が激化したことで販売量が縮小し前年同期比で減少

トレミー 化粧品市場の回復に伴い既存顧客からの受注が増加、大手販売先からの新規受注もあり前年同期比で増加

営業利益

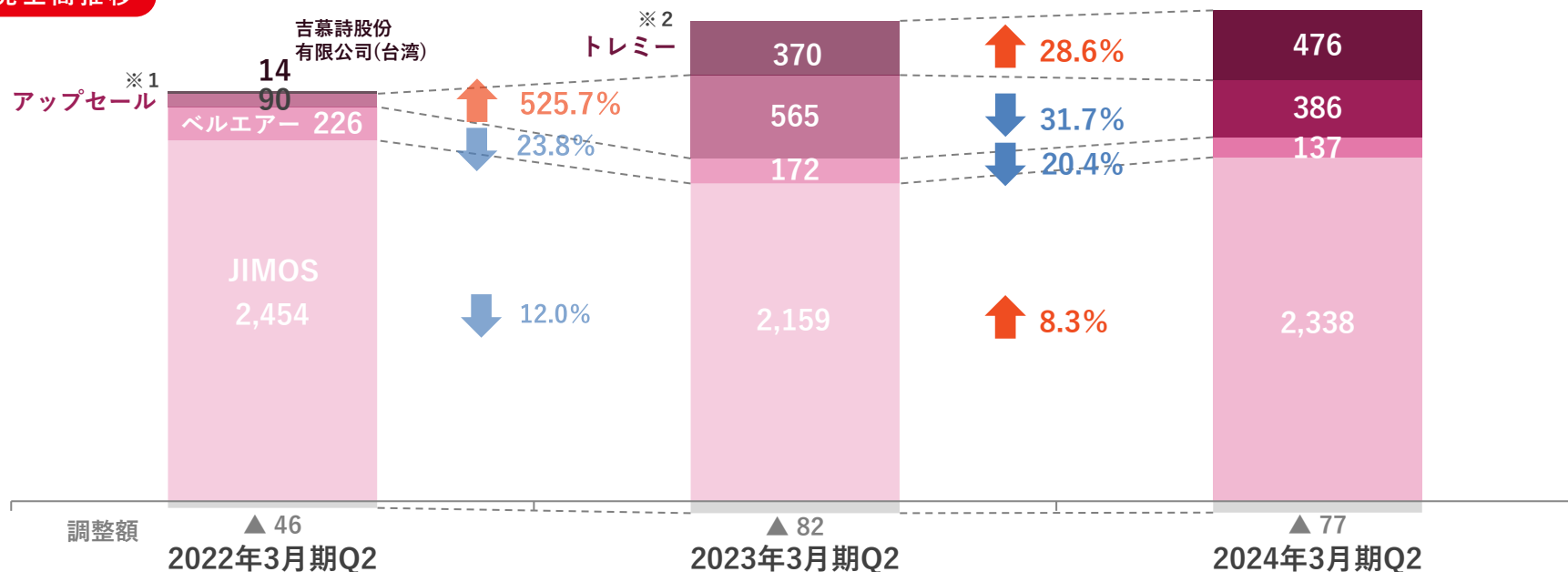
(株)トレミーの売上高増加やオフィス共用等の費用抑制が寄与し、損失計上した前年同期から黒字化

売上高 2,738 3,184 3,261 (百万円)

営業利益 311 ▲ 75 46

売上高推移

※ 1) (株) JIMOS から新設分割して設立(2021年9月より連結) ※ 2) M&Aにより子会社化(2021年10月より連結)



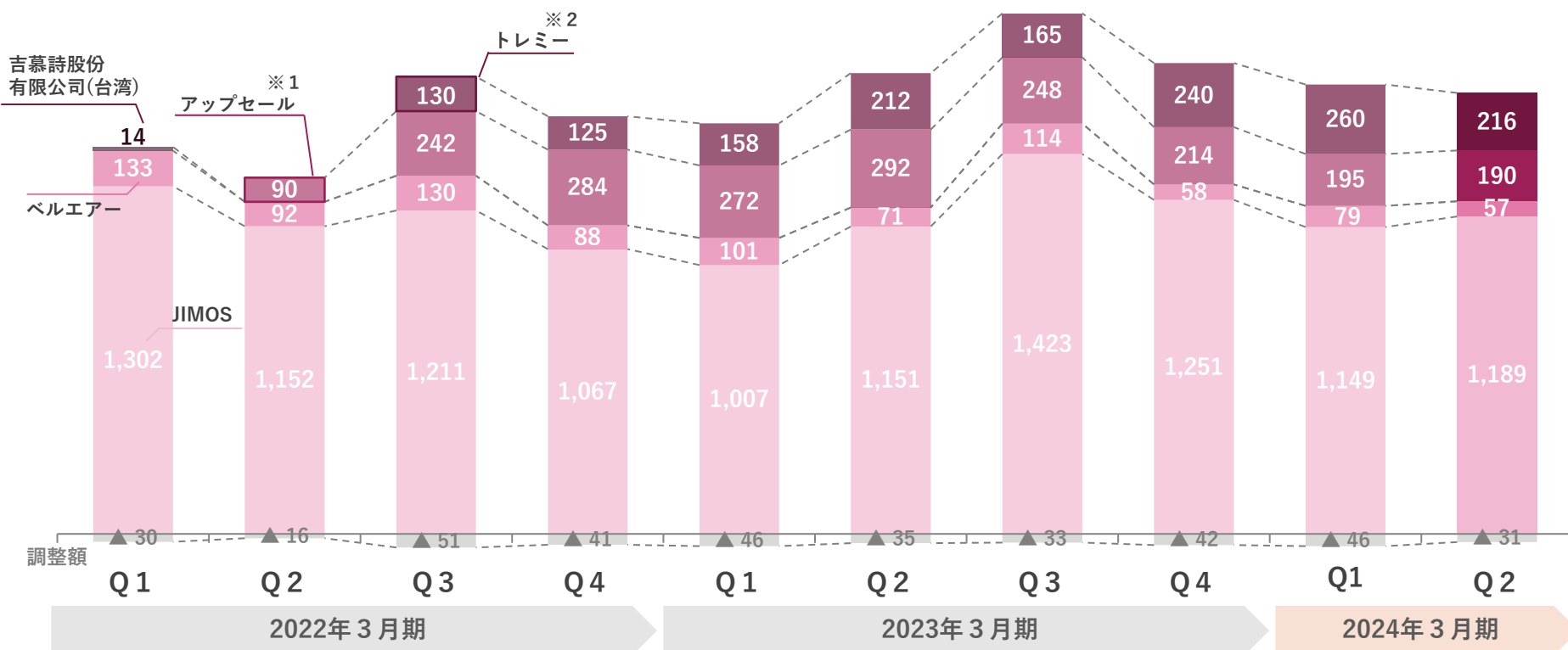
2-5b 美容・健康事業 売上高／営業利益の四半期推移

2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期	
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高									
1,419	1,319	1,658	1,524	1,493	1,691	1,919	1,722	1,638	1,622
営業利益									
183	128	193	▲353	▲41	▲34	200	113	25	20

売上高四半期推移

※1) (株)JIMOSのインフィニティービューティー事業と代謝生活CLUB事業を新設分割して設立(2021年9月より連結)
 ※2) M&Aにより子会社化(2021年10月より連結)

(百万円)



2-5c 美容・健康事業 第53期以降の重点施策

JIMOS

- ・ブランド横断的な広告投資の効率化を目的とした組織を新設
- ・既存商品の値上げ実施、新商品やカテゴリの開発による商品ラインナップの充実

ベルエアー

サプリメント販売の原点回帰を掲げ、人生100年時代を見据えた販路拡大

アップセール

通販事業の取扱商品拡充と積極的な商品開発、仕入による収益性向上

トレミー

- ・積極的な医薬部外品のODM提案、生産性向上のための設備および人的投資
- ・引き続きグループ各事業との垂直連携の強化

MACCHIA LABEL
マキアレイベル



coyori



SINN PURETÉ
natural & organics



豆腐の盛田屋



“jimmos one to only one



ベルエアー



UP SALE



☆ TOREMY



03 2024年3月期の業績予想

- (百万円)

35

3-2 連結業績予想：セグメント別売上高

(百万円)

	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績	増減額
ク リ ク ラ 事 業	15,000	14,733	+ 266
レ ン タ ル 事 業	16,500	18,722	▲ 2,222
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	9,000	6,754	+ 2,245
住 宅 事 業	11,500	10,067	+ 1,432
美 容 ・ 健 康 事 業	8,000	6,826	+ 1,173
消 去 調 整 他 (新 規 ・ M & A 等 を 含 む)	—	▲ 35	—
合 計	60,000	57,068	+ 2,931

3-3 連結業績予想：セグメント別営業利益

(百万円)

	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績	増減額
ク リ ク ラ 事 業	1,350 (9.0%)	1,618 (11.0%)	▲ 268 (▲ 2.0pt)
レ ン タ ル 事 業	1,600 (9.7%)	2,050 (11.0%)	▲ 450 (▲ 1.3pt)
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	1,350 (15.0%)	847 (12.5%)	+ 502 (+ 2.5pt)
住 宅 事 業	250 (2.2%)	▲ 181 (▲ 1.8%)	+ 431 (+ 4.0pt)
美 容 ・ 健 康 事 業	400 (5.0%)	238 (3.5%)	+ 161 (+ 1.5pt)
全 社 費 用 等 (新 規 ・ M & A 等 を 含 む)	▲ 1,450	▲ 1,341	▲ 108
合 計	3,500 (5.8%)	3,232 (5.7%)	+ 267 (+ 0.1pt)

※カッコ内の数値は売上高に対する営業利益率です。

04 配当

4-1 配当方針および配当実績、配当予想

配当方針

純資産配当率（DOE）4%かつ配当性向100%以内

年間配当額

22

44

38

40

42

純資産配当率(DOE)

2.5%

4.8%※

3.9%

3.9%

—

配当性向

95.9%

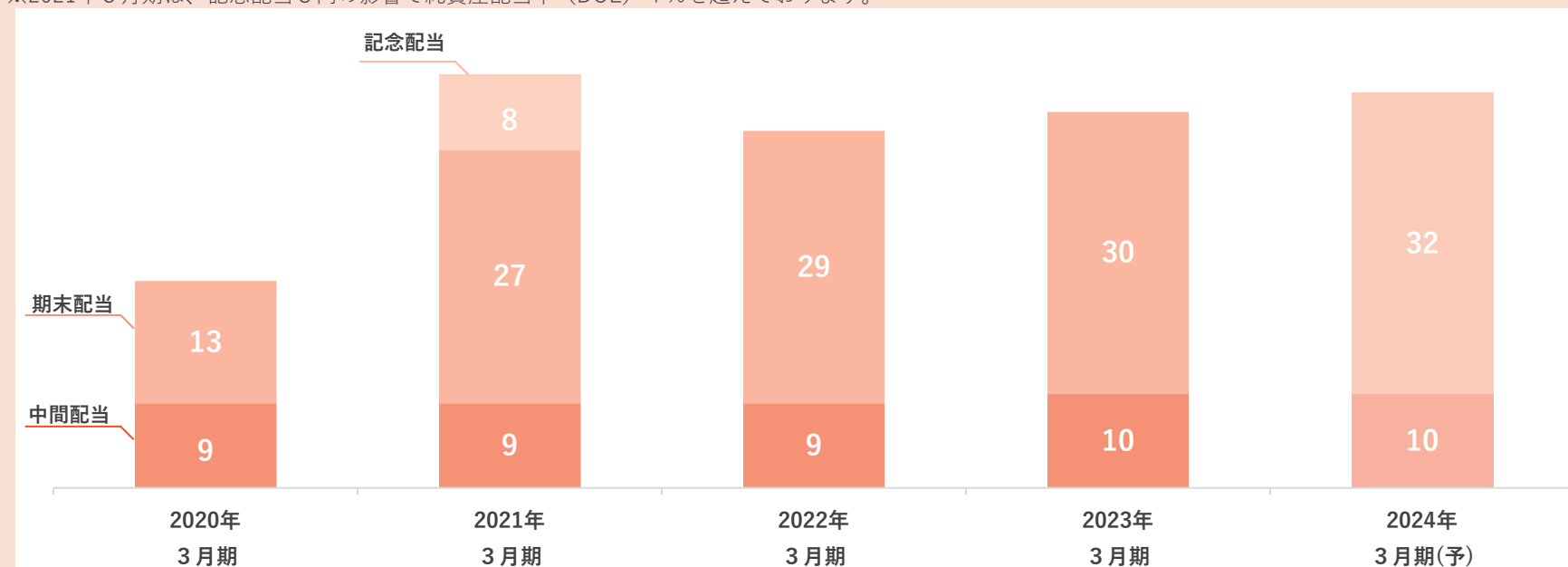
53.6%

49.9%

44.9%

42.9%

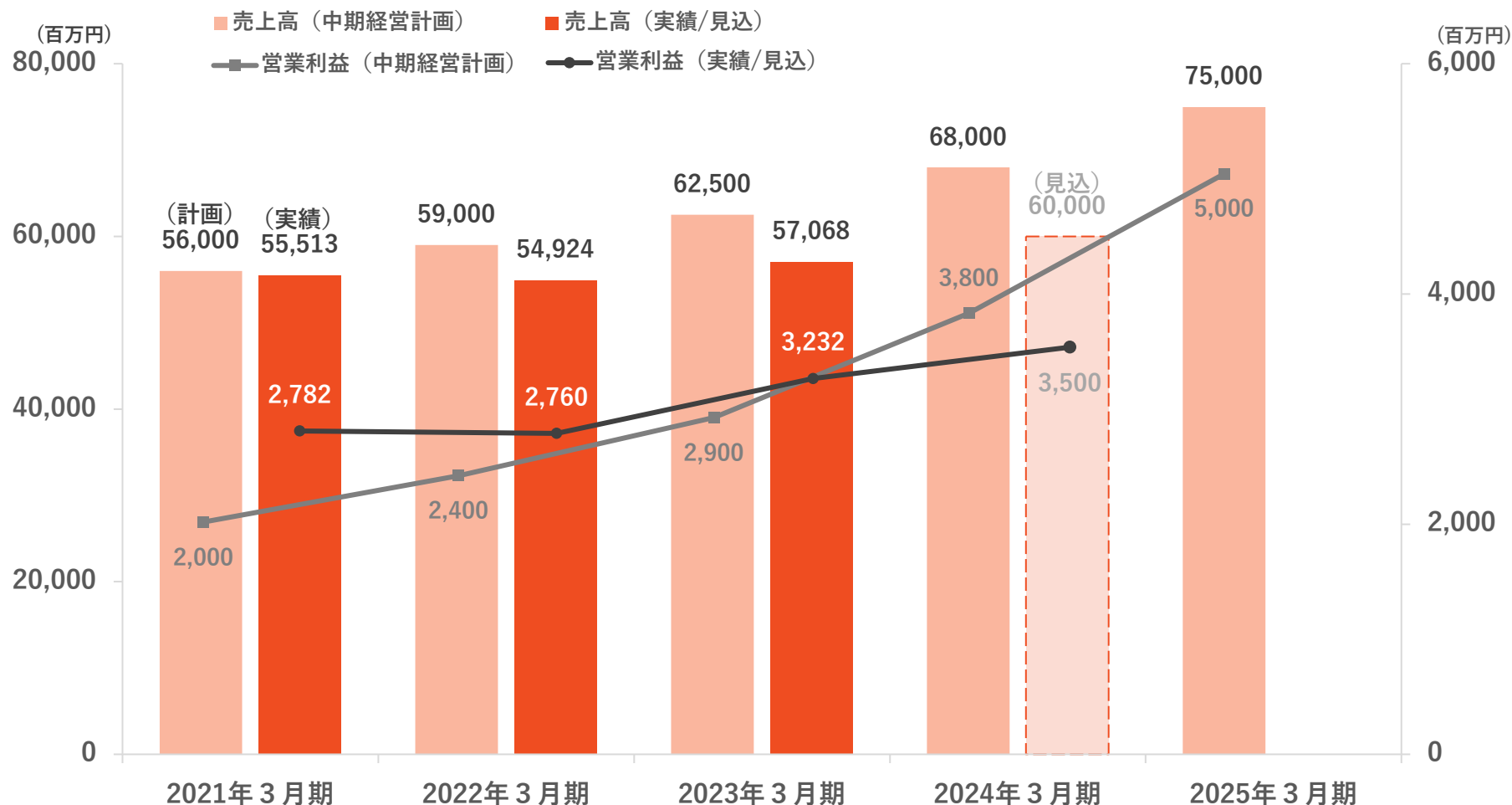
※2021年3月期は、記念配当8円の影響で純資産配当率（DOE）4%を超えております。



05 中期経営計画

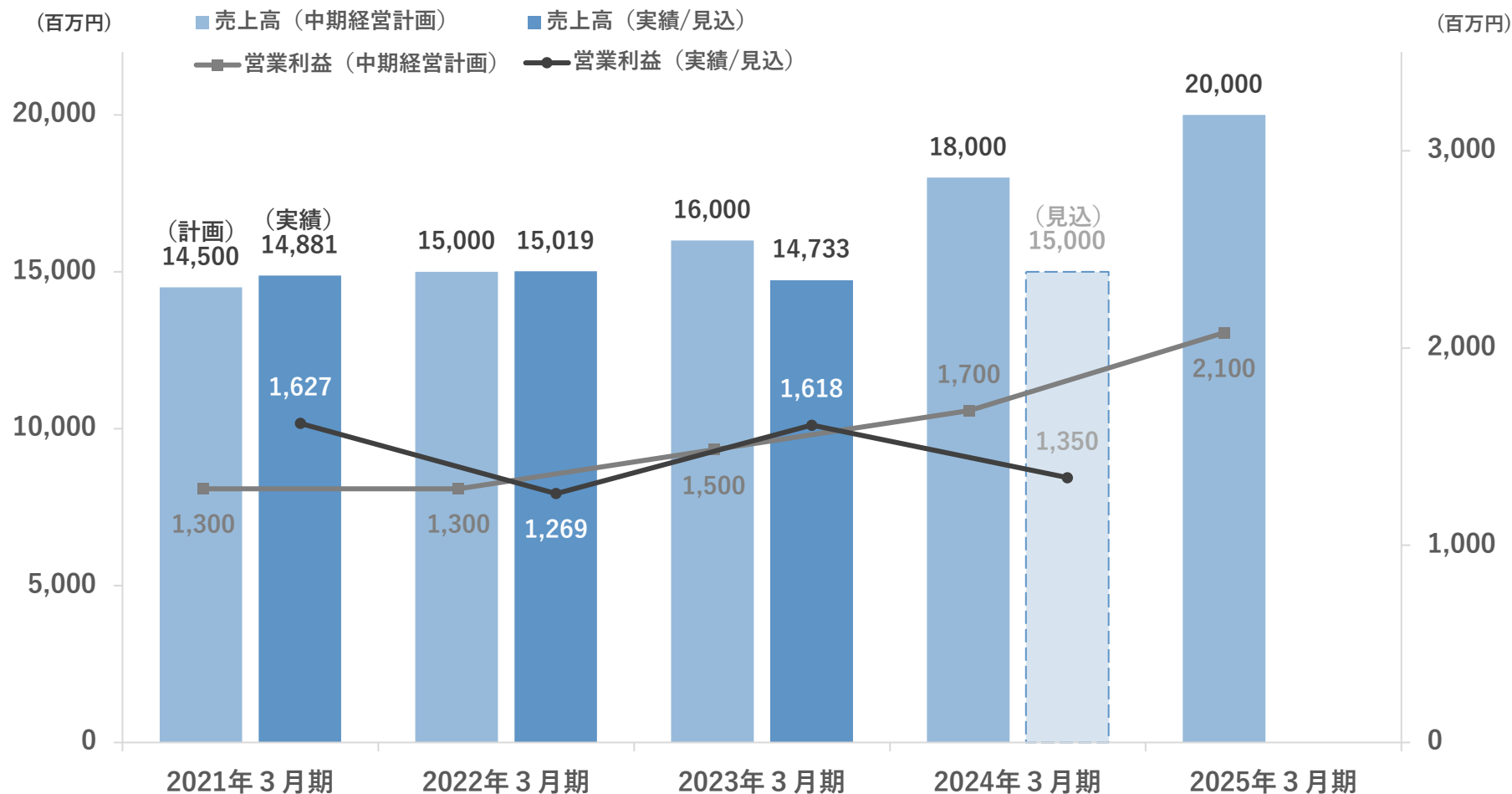
5-1 中期経営計画の状況

- ・ 2024年3月期は引き続きクリクラ事業やレンタル事業を中心に積極的な先行投資を予定
- ・ 前期比増収増益での計画となるが、中期経営計画に対しては減収減益を見込む



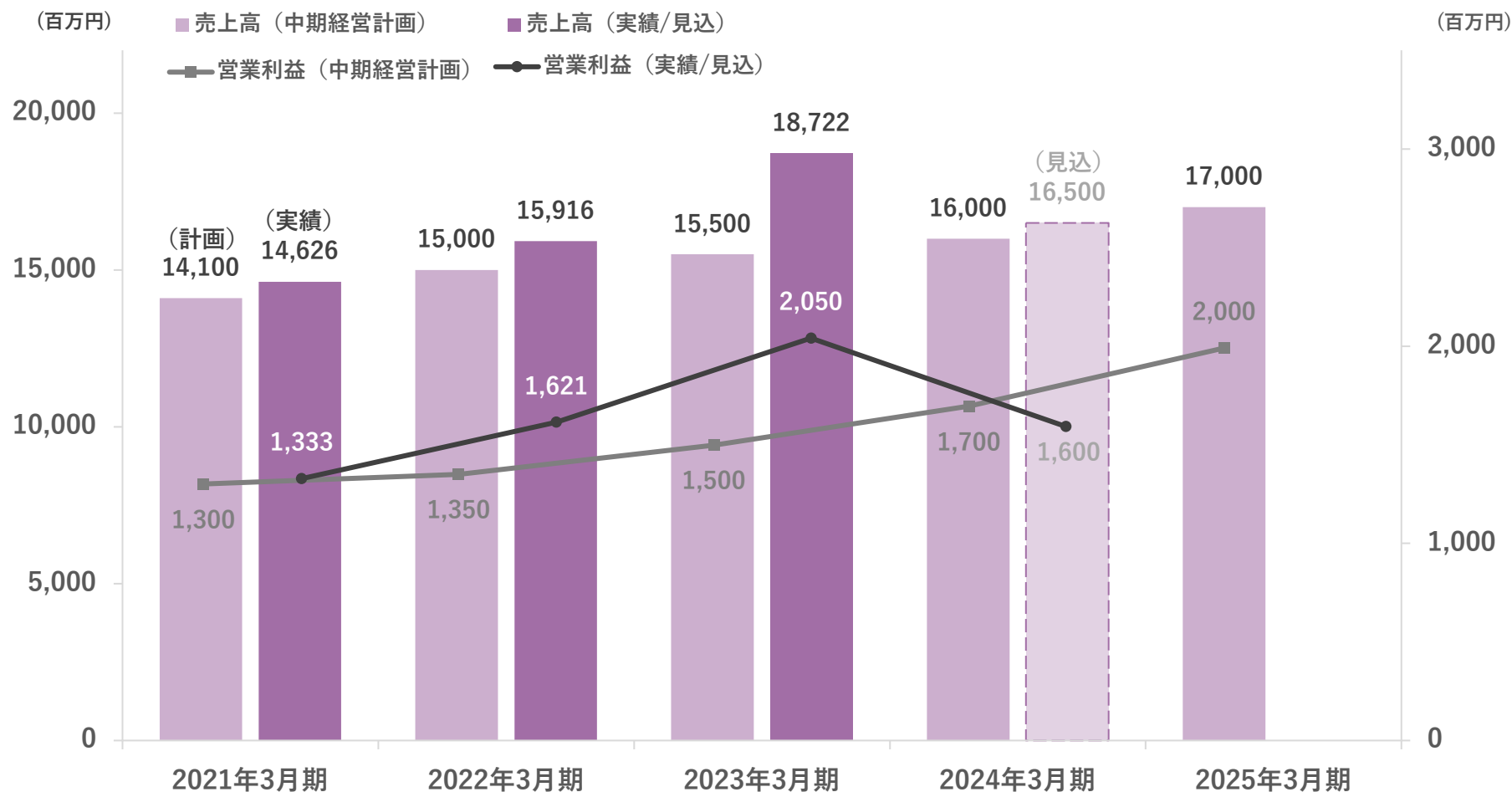
5-1 中期経営計画の状況（クリクラ事業）

- ・積極的な販促活動を予定するため、前期比増収減益での計画
- ・中期経営計画に対しては減収減益を見込む



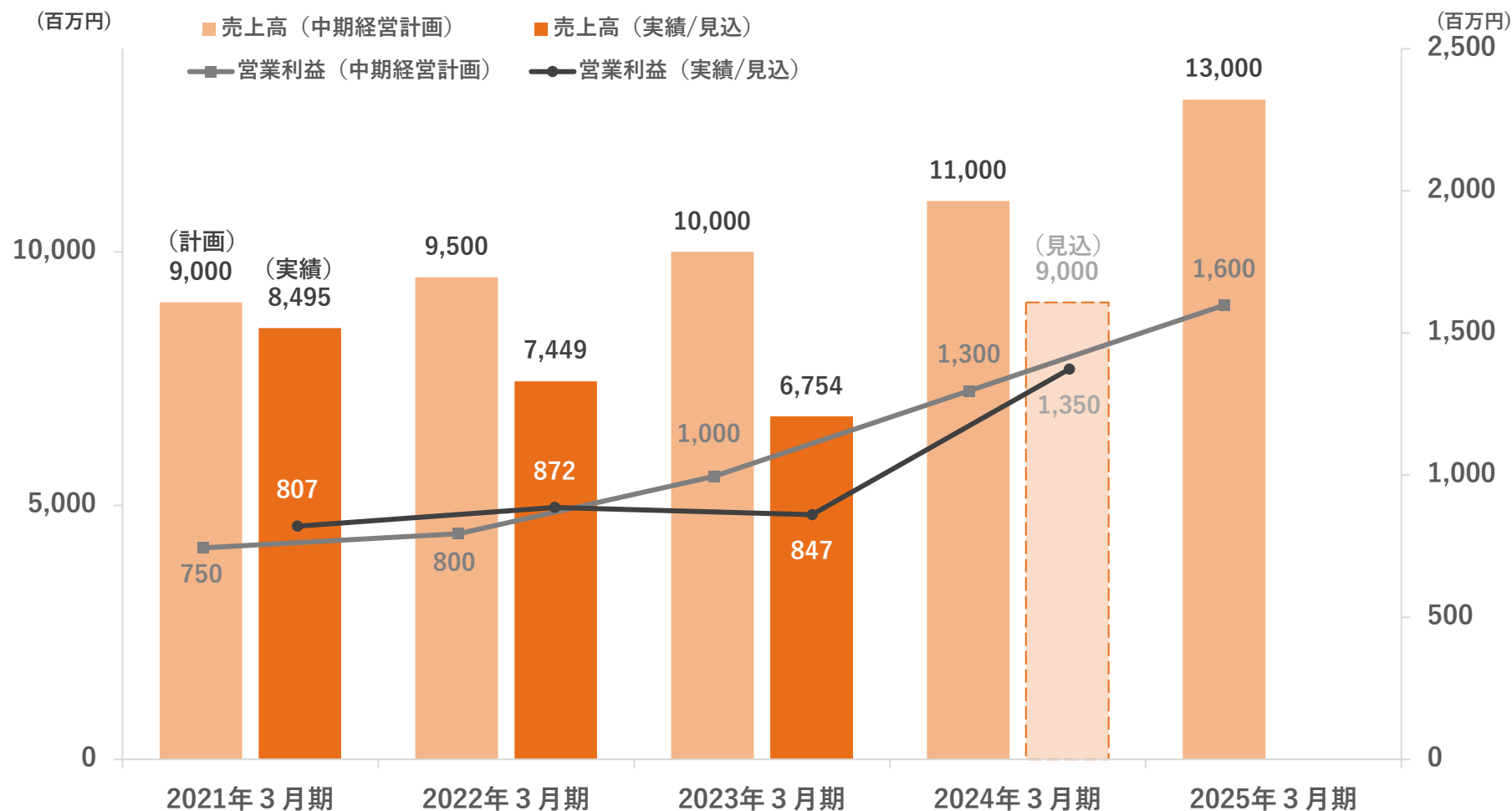
5-1 中期経営計画の状況（レンタル事業）

- ・ 前期比減収減益での計画
- ・ 中期経営計画に対しては増収減益を見込む



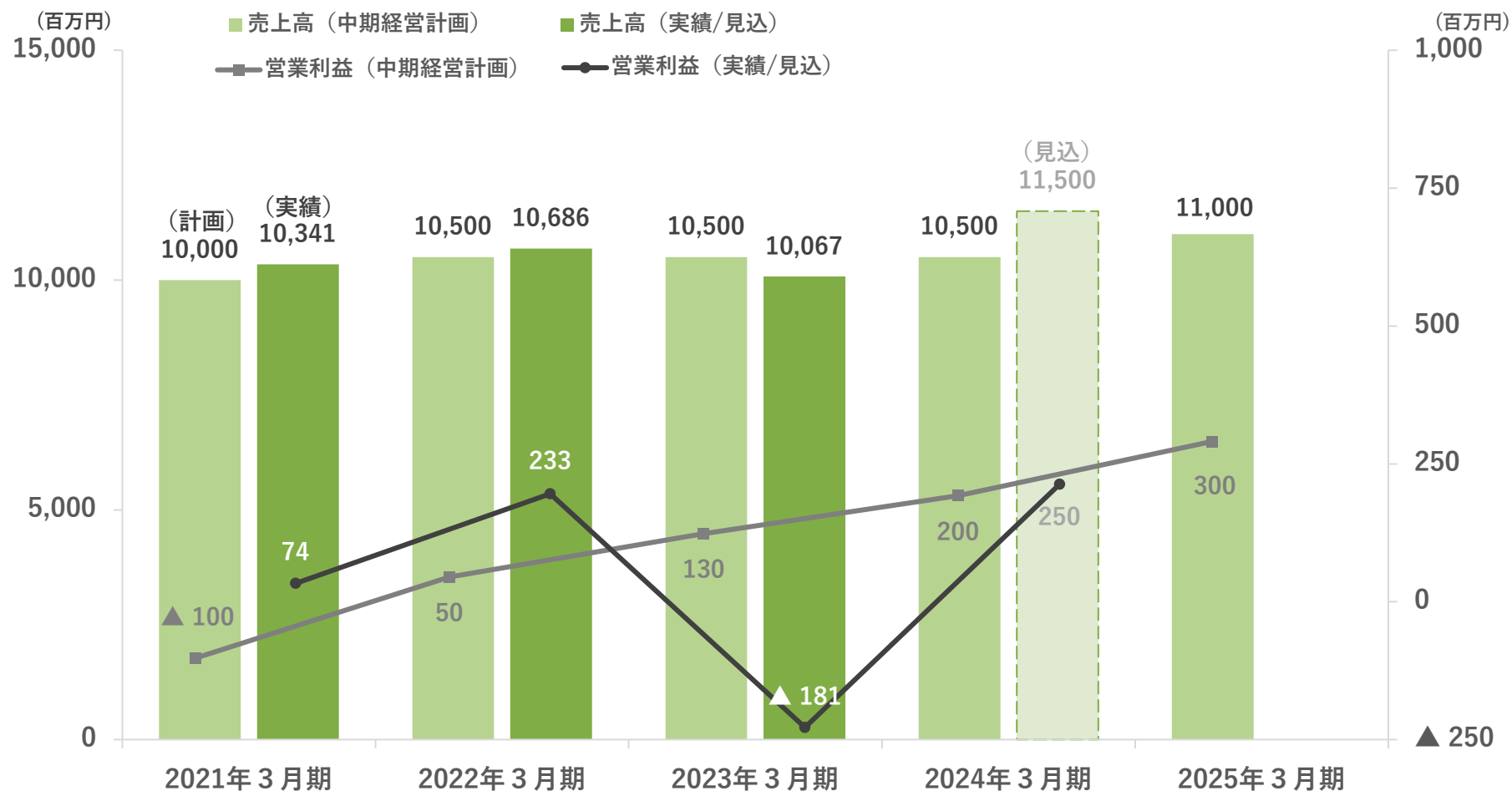
5-1 中期経営計画の状況（建築コンサルティング事業）

- ・ 前期比増収増益での計画
- ・ 中期経営計画に対しては減収増益を見込む



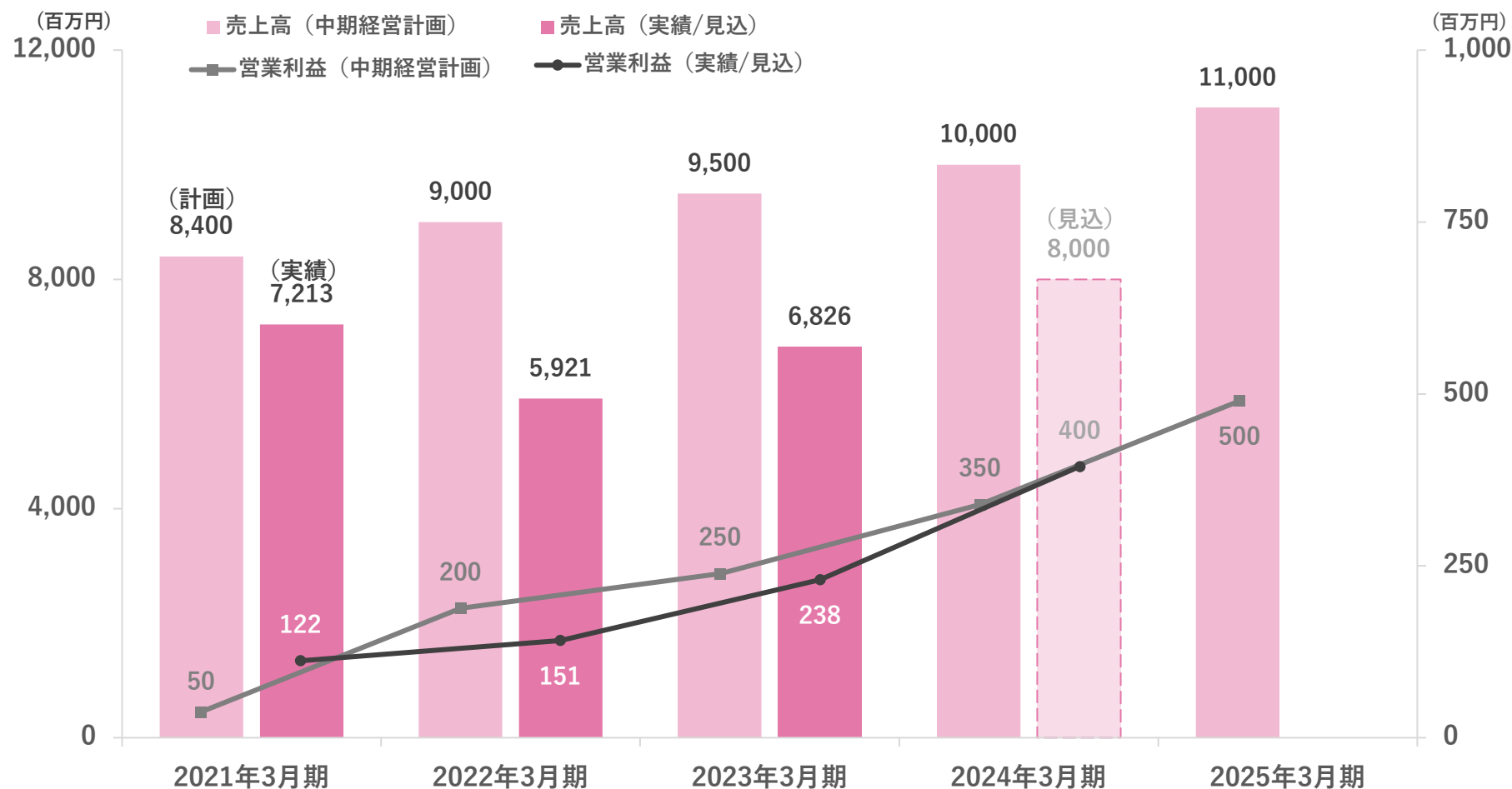
5-1 中期経営計画の状況（住宅事業）

- 前期比増収増益での計画
- 中期経営計画に対しては増収増益を見込む



5-1 中期経営計画の状況（美容・健康事業）

- ・ 前期比増収増益での計画
- ・ 中期経営計画に対しては減収増益を見込む



06 会社概要

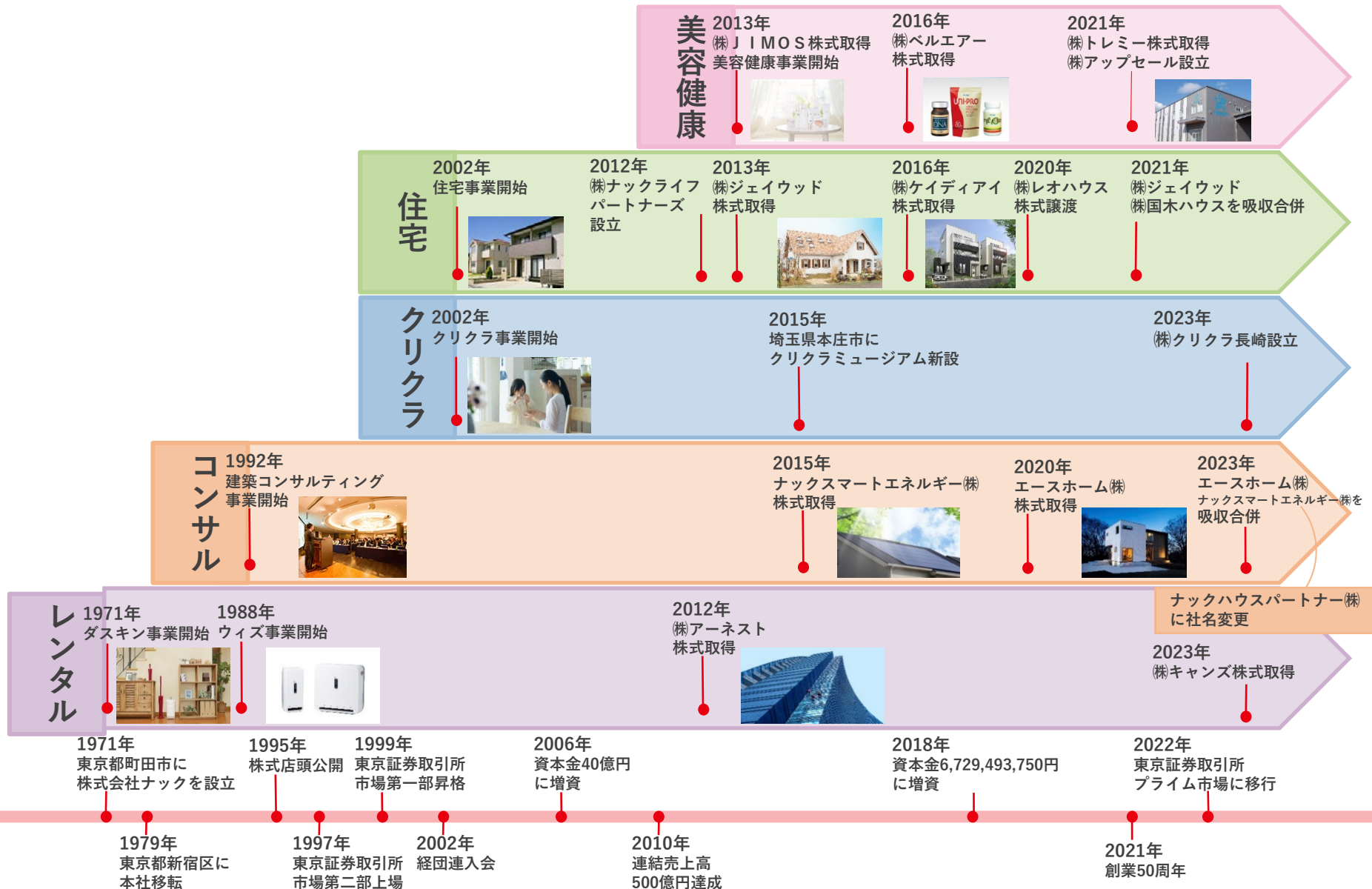
6-1 会社概要



(2023年9月末時点)

商号	株式会社ナック（NAC CO., LTD.）
所在地	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル42階
設立	1971年5月20日
代表者	代表取締役社長 吉村 寛
連結子会社	クリクラ 株式会社クリクラ長崎（宅配水事業）※2023年4月1日に連結子会社化 レンタル 株式会社アーネスト（ビルメンテナンス事業） コンサル 株式会社キャンズ（原状回復工事事業）※2023年5月31日に子会社化 住 宅 ナックハウスパートナー株式会社（住宅FC事業・省エネ関連部資材の施工と販売） 美容健康 ※2023年4月1日にエースホーム㈱から社名変更、かつナックススマートエネルギー㈱を吸収合併 株式会社ジェイウッド（注文住宅の建築請負） 株式会社ケイディアイ（分譲・注文住宅） 株式会社ナックライフパートナーズ（金融・福利厚生） 株式会社 JIMOS（化粧品・健康食品の通販等） 株式会社ベルエアー（栄養補助食品、化粧品の製造販売） 吉慕詩股份有限公司(台湾)（美容・健康事業） 株式会社トレミー（化粧品の開発・製造） 株式会社アップセール（化粧品・健康食品・医薬品の通販等）
従業員数（正社員）	連結 1,628 名（パートタイマー、アルバイトは除く）
資本金	6,729,493,750 円
発行済株式数	23,306,750 株（一単位：100株）
株主数	14,417 名（自己名義株式を除く総株主数）

6-2 ナックグループのあゆみ



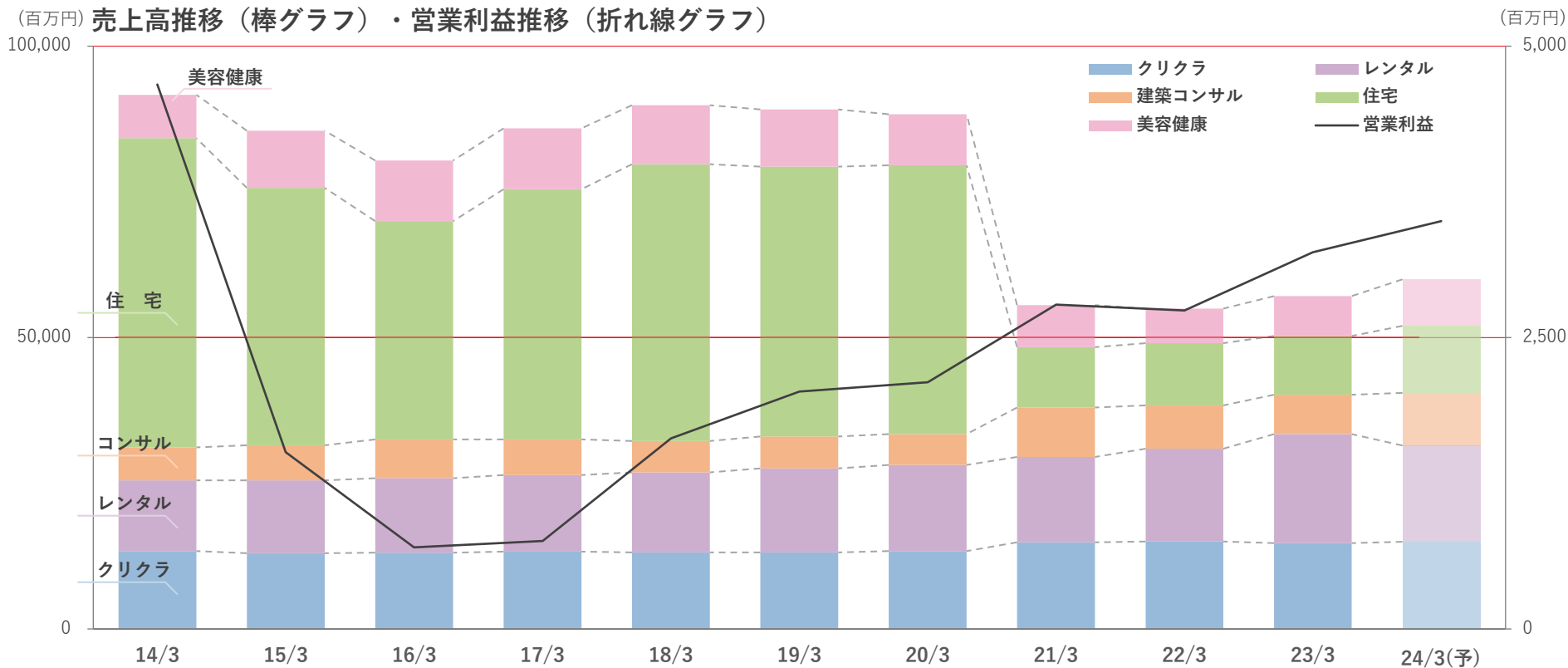
6-3 ナックグループ業績（過去10期＋予想）

2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期(予)
売上高 91,630	85,443	80,302	85,901	89,818	89,111	88,222	55,513	54,924	57,068	60,000
営業利益 4,672	1,517	701	756	1,637	2,037	2,118	2,782	2,760	3,232	3,500

消費増税反動減により
住宅事業で大幅減少

レオハウス株式譲渡
により収益構造変化

(百万円) 売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）

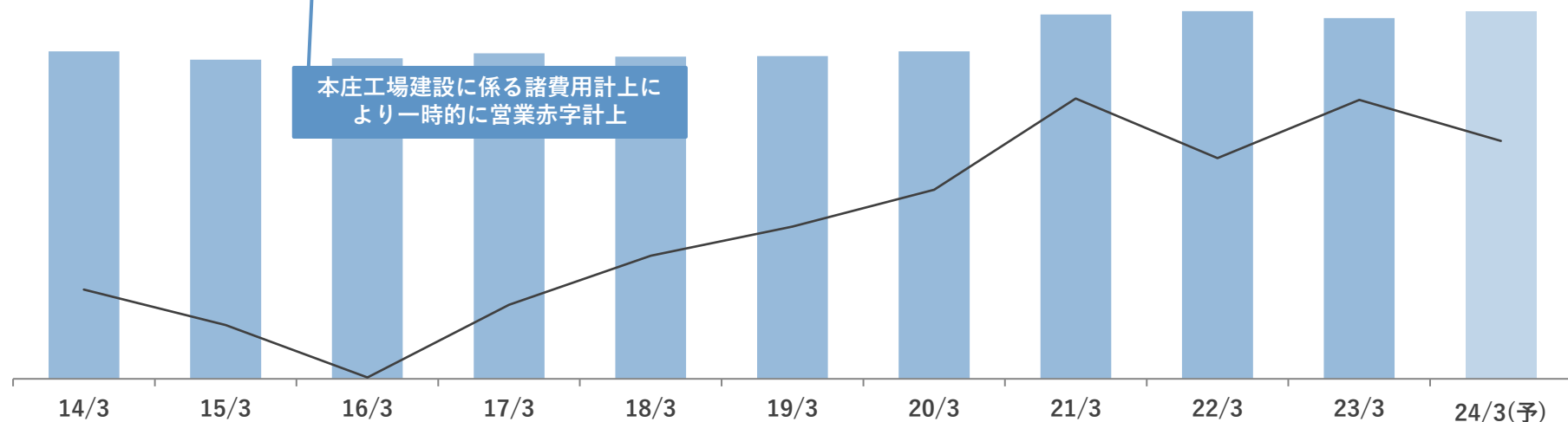


6-4 事業紹介 クリクラ事業

主な構成：(株)ナック クリクラ事業部、(株)クリクラ長崎

- ・ 宅配水「クリクラ」、浄水型ウォーターサーバー「feel free（フィールフリー）」、次亜塩素酸水溶液「ZiACO（ジアコ）」の製造・販売
- ・ クリクラチェーンの本部を運営（加盟店450社超）
- ・ **12年連続**お客様満足度**No. 1**（2022年12月ニフティ株式会社調べ「宅配水に関する調査」）
- ・ **業界初**のecoマークを取得、**業界初**の研究開発専門センター設立
- ・ 2015年4月 埼玉県本庄市に製造工場およびクリクラミュージアム設立
- ・ 2023年4月 (株)クリクラ長崎を子会社化（屋号「クリクラ九十九」）

売上高											(百万円)
13,376	13,033	13,095	13,293	13,158	13,179	13,375	14,881	15,019	14,733	15,000	
営業利益											
375	143	▲ 201	274	596	788	1,030	1,627	1,269	1,618	1,350	
売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）											



6-5 事業紹介 レンタル事業

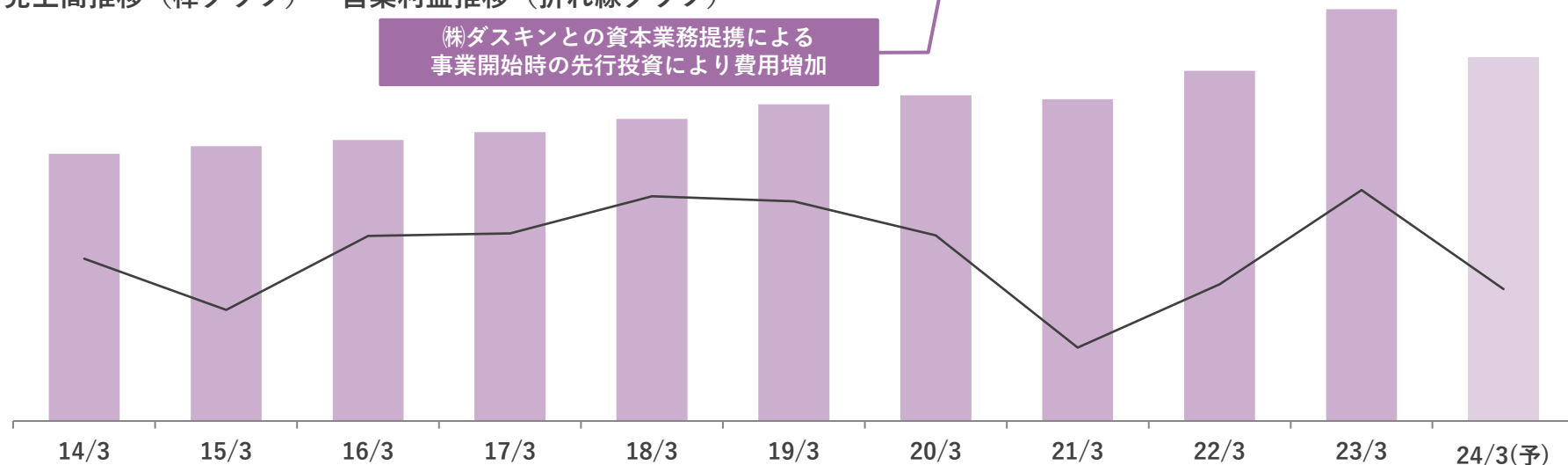
主な構成：(株)ナック ダスキン事業部、ウィズ事業部、(株)アーネスト、(株)キャンズ

- ・ ダストコントロール商品と害虫駆除器のレンタル・販売および定期清掃業務等
- ・ ダスキンフランチャイズディーラー**売上No. 1**（約1,900社中）
- ・ **日本初**の厚生労働省承認飲食店向け害虫駆除器「with」
- ・ 2012年 3 月 (株)アーネストを子会社化（ビルメンメンテナンス事業）
- ・ 2018年 8 月 (株)ダスキンと資本業務提携契約を締結
- ・ 2023年 5 月 (株)キャンズを子会社化（原状回復工事事業）

(百万円)											
売上高	12,147	12,485	12,765	13,135	13,727	14,394	14,808	14,626	15,916	18,722	16,500
営業利益	1,738	1,505	1,841	1,853	2,021	1,998	1,844	1,333	1,621	2,050	1,600

売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）

(株)ダスキンとの資本業務提携による
事業開始時の先行投資により費用増加



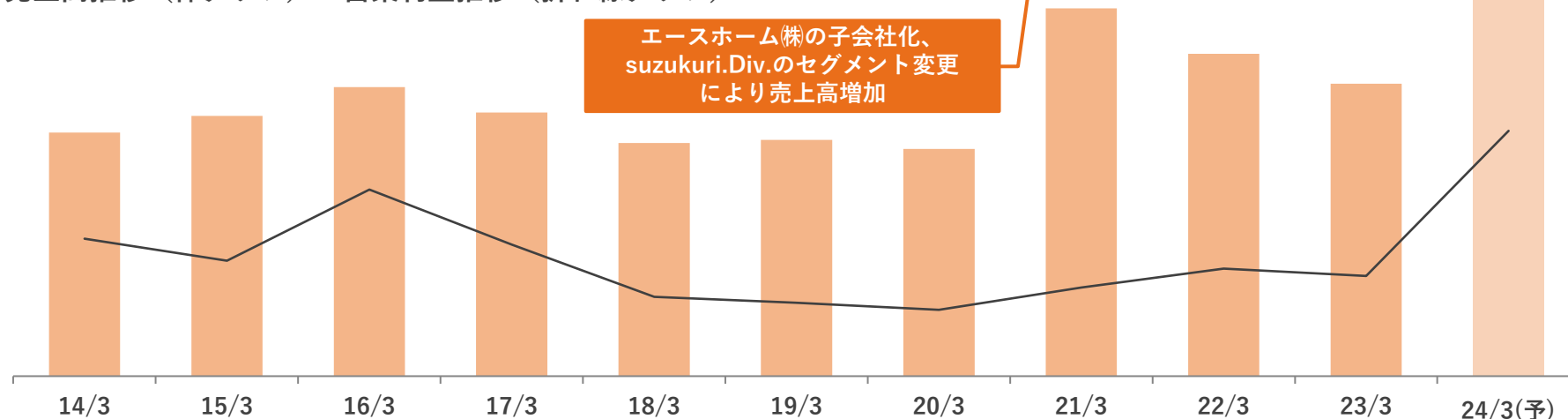
6-6 事業紹介 建築コンサルティング事業

主な構成：(株)ナック 建築コンサルティング事業部、ナックハウスパートナー(株)

- ・ 地場工務店への建築ノウハウ商品及び建築部資材の販売と施工、住宅フランチャイズ事業
- ・ ナック会員工務店 **約7,000社**
- ・ 2015年9月 ナックススマートエネルギー(株)※以下「NSE(株)」を子会社化(省エネ商材販売・施工)
- ・ 2017年4月 (株)s u z u k u r i を子会社化 (異業種と提携した住宅事業を展開)
(2020年4月に住宅事業セグメントから変更後、suzukuri Div.として継続)
- ・ 2020年2月 エースホーム(株)を子会社化 (住宅フランチャイズ事業)
- ・ 2023年4月 エースホーム(株)がNSE(株)を吸収合併、ナックハウスパートナー(株)に社名変更

売上高	5,628	6,014	6,676	6,089	5,383	5,459	5,251	8,495	7,449	6,754	9,000
営業利益	976	900	1,146	956	775	754	730	807	872	847	1,350

売上高推移 (棒グラフ) ・ 営業利益推移 (折れ線グラフ)

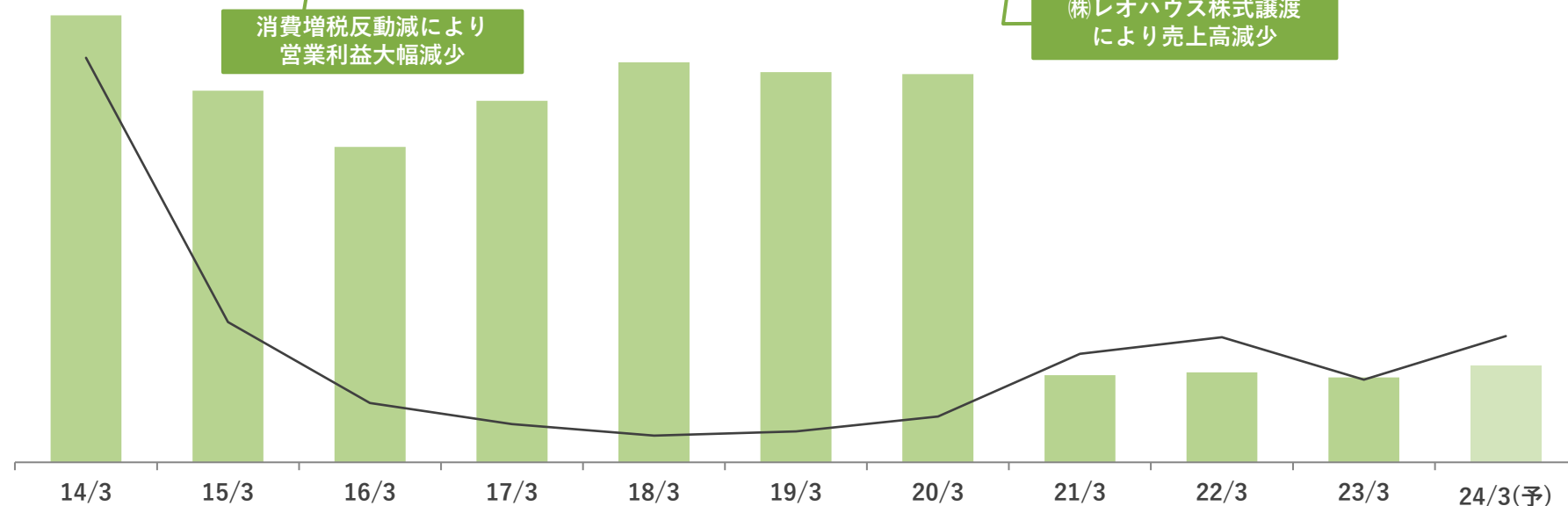


6-7 事業紹介 住宅事業

主な構成：(株)ケイディアイ、(株)ジェイウッド、(株)ナックライフパートナーズ

- 戸建注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売及びそれに付随する金融・保険業務
- 2013年7月 (株)ジェイウッドを子会社化（自然素材の注文住宅）
- 2016年5月 (株)ケイディアイを子会社化（首都圏での分譲・注文住宅）
- 2017年6月 (株)国木ハウスを子会社化（北海道で住宅事業を展開）
- 2021年4月 (株)ジェイウッドが(株)国木ハウスを吸収合併（KUNIMOKU HOUSE事業として継続）

売上高	53,059	44,134	37,452	42,936	47,492	46,318	46,101	10,341	10,686	10,067	11,500
営業利益	3,003	388	▲ 412	▲ 622	▲ 736	▲ 694	▲ 545	74	233	▲ 181	250
売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）											



6-8 事業紹介 美容・健康事業

主な構成：(株) J I M O S、(株)ベルエアー、(株)トレミー、(株)アップセール

- 化粧品・健康食品及び美容材料等の通信販売
- 2013年7月 (株) J I M O S の子会社化により美容・健康事業参入
20～60代の女性を中心に、「マキアレイベル」など4ブランドを展開
- 2016年12月 (株)ベルエアーを子会社化（サプリメント販売）
- 2021年7月 (株)トレミーを子会社化（化粧品の受託製造）
- 2021年9月 (株)アップセールを設立（化粧品・健康食品・医薬品の通販）

